

(単位：千円)

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	イベント推進費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
105,331	101,015				15,823 (手数料、財産収入、 譲収入)	85,192
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,316				4,316	

【目的】

高田城址公園観桜会など当市を代表するイベントを各実行組織と連携して開催し、市民の地域への誇りと愛着、一体感を育み、多様な交流機会の創出と市内経済の活性化につなげる。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観桜会事業 83,305

○令和3年度目標

- ・入込数：1,210,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・観桜会事業補助金 (83,280)

開催日 令和3年4月1日(木)～15日(木) 15日間

会場 高田城址公園

事業主体 上越市、公益社団法人上越観光コンベンション協会、上越商工会議所

事業内容 ぼんぼりの点灯、高田城三重櫓及びさくらロードのライトアップ、臨時駐車場の開設、露店・物産展の開設(テイクアウトのみ)、上越ケーブルビジョン株式会社と連携したライブカメラ映像の配信

入込数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入込数	1,205,000人	128,000人	200,000人

○目標達成状況

- ・露店及び物産展の開設、さくらロードのライトアップなどを実施したことにより、入込数は令和2年度に比べ増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響や、会期初日を満開で迎え、半ば以降は見頃を過ぎたことから客足が伸びず、目標を達成することができなかった。



観桜会の様子

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	イベント推進費		

上越まつり事業 7,408

○令和3年度目標

	入込数
高田地区	80,000人
直江津地区	120,000人
春日地区	112,900人

○実施内容、これまでの経過等

- ・上越まつり委員会交付金(7,408)

事業主体 上越まつり委員会(公益社団法人上越観光コンベンション協会、高田祇園まつり奉賛会、直江津祇園祭協賛会、謙信公祭協賛会)

<高田、直江津地区>

全ての催しを中止

- ・高田地区、直江津地区では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度と同様に全ての催しを中止した。
- ・直江津地区では、7月29日(木)に祇園祭参加町内の有志により、例大祭を関係者のみで実施したほか、伝統継承活動として13町内会がお囃子の練習を行った。

<春日地区(謙信公祭)>

開催日 令和3年8月21日(土)前夜祭、8月22日(日)本祭

事業内容 前夜祭(花火の打上げ、春日神社でのライトアップ)、謙信流陣太鼓の演奏、武禊式、「謙信公の塩」献上の儀式、武道披露、越後上越上杉おもてなし武将隊による演武、狼煙上げなど

入込数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
高田地区	142,000人	中止	中止
直江津地区	196,000人	中止	中止
春日地区	153,900人	765人	1,965人

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての地区において事業の中止又は縮小開催となったため、目標を達成することはできなかった。

観蓮会事業 2,536

○令和3年度目標

- ・入込数：198,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・高田城址公園観蓮会実行委員会交付金

開催日 令和3年7月17日(土)～8月22日(日) 37日間

会場 高田城址公園、高田本町商店街ほか

事業主体 高田城址公園観蓮会実行委員会

事業内容 お休み処の設置、お水鉢の設置、はすウォッチング、観光案内所の設置、クーポン付き街歩きマップの配布など

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	イベント推進費		

入込数等の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入込数	198,000人	49,000人	57,000人
開催期間	7月20日(土)～ 8月25日(日)	7月18日(土)～ 8月23日(日)	7月17日(土)～ 8月22日(日)
日数	37日間	37日間	37日間

- ・市内において新型コロナウイルス感染症が拡大したため、本町商店街で開催を予定していた「百年商店街絵看板めぐり、蓮めぐり」を中止した。
- ・集客に向けたPR活動として、上越妙高駅東口もてなしドームでの懸垂幕の掲出や、高田城址公園及び高田駅前にのぼり旗を設置したほか、上越ケーブルビジョンによるライブカメラ映像の配信を行った。また、観蓮会の更なるPRに向け、ドローンによる動画撮影を行った。
- ・公益社団法人上越観光コンベンション協会主催の「マイクロツーリズム小さな旅」において「夏のお花見、蓮の朝粥ツアー」の実施や、高田おもてなしの会作成によるクーポン付き街歩きマップを配布した。

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症を始め、会期後半は雨天が多く入込が伸び悩んだことで、令和2年度と比べ、入込数が増加したものの、目標を達成することができなかった。

レルヒ祭事業 815

○令和3年度目標

- ・入込数：26,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・レルヒ祭実行委員会交付金

開催日 令和4年2月5日(土)、6日(日)

会場 金谷山スキー場、高田本町商店街ほか

事業主体 レルヒ祭実行委員会

事業内容 金谷山会場：打上げ花火のインターネットによる映像の配信、金谷山スキー場のリフト・日本スキー発祥記念館入館料の無料化
本町商店街会場：雪灯籠の設置、Instagramを活用したフォトコンテスト、本町ガチ盛りまつりなど

入込数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入込数	8,100人	1,900人	1,482人

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の全国的な再拡大に伴い、県内にまん延防止等重点措置が適用され、金谷山会場でのイベントを中止としたため、目標を達成することができなかった。

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	イベント推進費		

露店市場管理事業 6,951

○実施内容、これまでの経過等

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観桜会以外のイベントで移動露店の開設を中止した。
なお、謙信公祭では開設を予定していたが、市内において新型コロナウイルス感染症が拡大したため急遽中止とした。
- ・移動露店市場管理委託料
- ・会場及び移動露店出店数

会 場	令和元年度	令和2年度	令和3年度
高田城址公園観桜会	274店	全て中止	40店
八坂神社春祭礼	2店		中止
上越まつり・高田本町	19店		中止
上越まつり・三八通り	87店		中止
上越まつり・八坂神社	20店		中止
謙信公祭	4店		中止
坂田池観桜会（柿崎区）	3店		中止
お引き上げ商工まつり（柿崎区）	108店		中止
納涼花火大会（柿崎区）	7店		中止
菅原神社例大祭（清里区）	15店		中止

【事業の成果】

- ・令和2年度に比べ、入込数は増加傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や内容の変更、規模の縮小を余儀なくされたことから、全てのイベントで目標入込数に達することができなかった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・当市の更なる認知度向上と交流人口の拡大を促進するため、各イベントの実行委員会や関係機関と効果的な情報発信や受入態勢の在り方等について検討を重ね、イベント内容と情報発信、データ収集の充実を図っていく。
- ・新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立を図るため、各実行組織と連携しイベントを開催していく。

【執行残額について】

そ の 他：新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを縮小開催したことによる執行残 4,316

(単位：千円)

決算書 (P286～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	直江津屋台会館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
48,202	47,938			32,000	622 (使用料、財産収入、 譲収入)	15,316
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	264				264	

【目的】

直江津祇園祭の屋台を保管するとともに、貸館施設としての利用促進や観光情報の発信を行い、伝統文化の保存と地域の活性化を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・利用者数：10,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 西本町4丁目18番12号
 設置 平成6年度
 構造 鉄骨造1階建て
 施設内容 イベントホール、広場、保存・展示庫
 面積 延床1,489.26㎡
 管理 直営
 利用形態 直江津祇園祭屋台の保管、貸館施設

・施設の経緯

平成6年度 開館
 平成14年度 利用者の減少により休館
 平成17・18年度 屋台会館前広場で、伝統芸能の披露を実施
 平成19年度 有効活用方法検討のため、関係町内会連絡協議会を開催
 平成20・21年度 「越後上越 天地人博」の開催
 平成22年度 貸館とする準備のため閉館(6月末まで)
 貸館及び屋台保管施設として開館(7月から)
 平成25年度 会議室をJーホールディングス(株)へ事務所貸付
 令和元年度 会議室のJーホールディングス(株)への事務所貸付が終了
 令和3年度 屋根の改修工事实施
 事務室をスポーツ協会へ事務所貸付

決算書 (P286～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	直江津屋台会館管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計 画	実 績
利用者数	9,684人	2,836人	10,000人	5,590人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	260	150	285	79
	その他	72	56	128	544
	合計	332	206	413	623
②支出	施設維持管理費	3,950	2,924	48,202	47,938
	うち委託料	1,932	1,142	1,219	1,219
	うち施設整備工	-	-	43,927	43,926
	その他	-	-	-	-
合計	3,950	2,924	48,202	47,938	
③公費投入額 (②-①)		3,618	2,718	47,789	47,315
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		374	958	4,779	8,464

【屋根改修工事の竣工状況】



決算書 (P286～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	直江津屋台会館管理運営費		

○目標達成状況

- ・うみまちアートで4,904人の利用があったが、新型コロナウイルス感染症の影響で貸館利用者が減少したため、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・うみまちアートの主会場や学校活動の休憩場所として、延べ5,590人の利用があり、地域の活性化に一定の成果があった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・うみまちアートによる利用が大半であったが、(株)良品計画の防災イベントなど、直江津の街なかへの回遊を促せるようなイベントの開催を促進する。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 264

(単位：千円)

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	金谷山公園管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
49,713	49,410			7,000	2,668 (使用料、財産収入、 譲収入)	39,742
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	303				303	

【目的】

恵まれた自然環境の中で健全な余暇活動の場を提供できるよう、金谷山スキー場や上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）を含む金谷山公園を適切に管理し、誘客促進を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・ボブスレー利用者数 : 7,000人
- ・スキーリフト利用者数 : 1,200人
- ・BMX場コース利用者数 : 700人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

金谷山スーパーボブスレー

所在地 大字大貫 595 番地 2

設置 昭和 56 年度

施設内容 コース：1本、延長 450m

営業期間 令和3年4月24日～10月31日の土曜・日曜・祝日、夏休み期間

管理 直営（業務委託）

利用形態 公園施設

※令和2年度から営業日を土曜・日曜・祝日、夏休み期間とした。

金谷山スキー場

所在地 大字大貫 595 番地 2

設置 昭和 56 年度

施設内容 コース：4本、最長滑走距離 780m

リフト：シングル 1基

管理棟：鉄筋コンクリート造 2階建て 58.00 m²監視所：木造 1階建て 6.55 m²、木造 1階建て 3.27 m²公衆トイレ：鉄筋コンクリート造 1階建て 21.38 m²、木造 1階建て 28.23 m²

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	金谷山公園管理運営費		

営業期間 令和4年1月16日～3月12日
 管 理 直営（業務委託）
 利用形態 公園施設

上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）

所在地 大字大貫698番地1
 設 置 平成10年度
 施設内容 コース：延長約350m
 休憩施設：鉄筋コンクリート造2階建て 26.39㎡
 公衆トイレ：木造1階建て 34.78㎡
 営業期間 令和3年4月24日～10月31日の土曜・日曜・祝日、お盆期間
 管 理 直営
 利用形態 公園施設

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			目標	実績
ボブスレー利用者	15,035人	5,984人	7,000人	9,140人
スキーリフト利用者	0人	3,085人	1,200人	4,202人
BMXコース利用者	1,841人	452人	700人	1,506人
合計	16,876人	9,521人	8,900人	14,848人

・施設管理における市の収支状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			予 算	実 績	
①収入	使用料収入	3,517	1,867	3,225	2,585
	その他	180	115	192	83
	合計	3,697	1,982	3,417	2,668
②支出	施設維持管理費	43,543	37,470	49,713	49,410
	うち委託料	31,821	23,161	28,847	28,845
	その他	-	-	-	-
	合計	43,543	37,470	49,713	49,410
③公費投入額（②－①）		39,846	35,488	46,296	46,742
④利用者1人当たりの 公費投入額（単位：円）		2,361	3,727	5,202	3,148

※令和元年度に索道特別会計から一般会計へ移行

決算書 (P 288～P 289)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	金谷山公園管理運営費		

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響から、遠出自粛等による市民利用や屋外レジャーの需要が増え、ボブスレーの利用者数は、目標に対して2,140人多い9,140人、スキーリフトの利用者は、降雪に恵まれ例年より営業日が多かったことから、目標に対して3,002人多い4,202人であり、目標を大きく上回った。
- ・また、BMXコースについても、全日本自転車競技選手権が開催されたこと等が影響し、利用者数は目標を806人上回る1,506人であり、ともに目標を達成できた。

【事業の成果】

- ・雑木の伐採や草刈りなど施設の適切な管理により、良好な景観を維持し、気軽に楽しめる市民の憩いの場を提供した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域の声も聞きながら金谷山公園の今後の在り方を検討するとともに、老朽化が進む施設の修繕を計画的に進める必要がある。
- ・新潟県BMX協会と連携し、全国から人が集まる全日本自転車競技選手権などの大会を誘致し、交流人口及び競技人口の拡大を図る。
- ・また、各種大会が開催できるコース環境を整えるため、必要に応じ大規模修繕も実施しながら適切な維持管理を行う必要がある。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 303

(単位：千円)

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
122,482	106,659			53,400		53,259
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	15,823			15,014	809	

【目的】

スキーを始め年間を通じて野外スポーツ等を楽しめる観光拠点として、今後の施設の在り方を検討しつつ、安全安心の利用を確保するための適切な施設の維持・整備を行う。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

雪だるま高原施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。

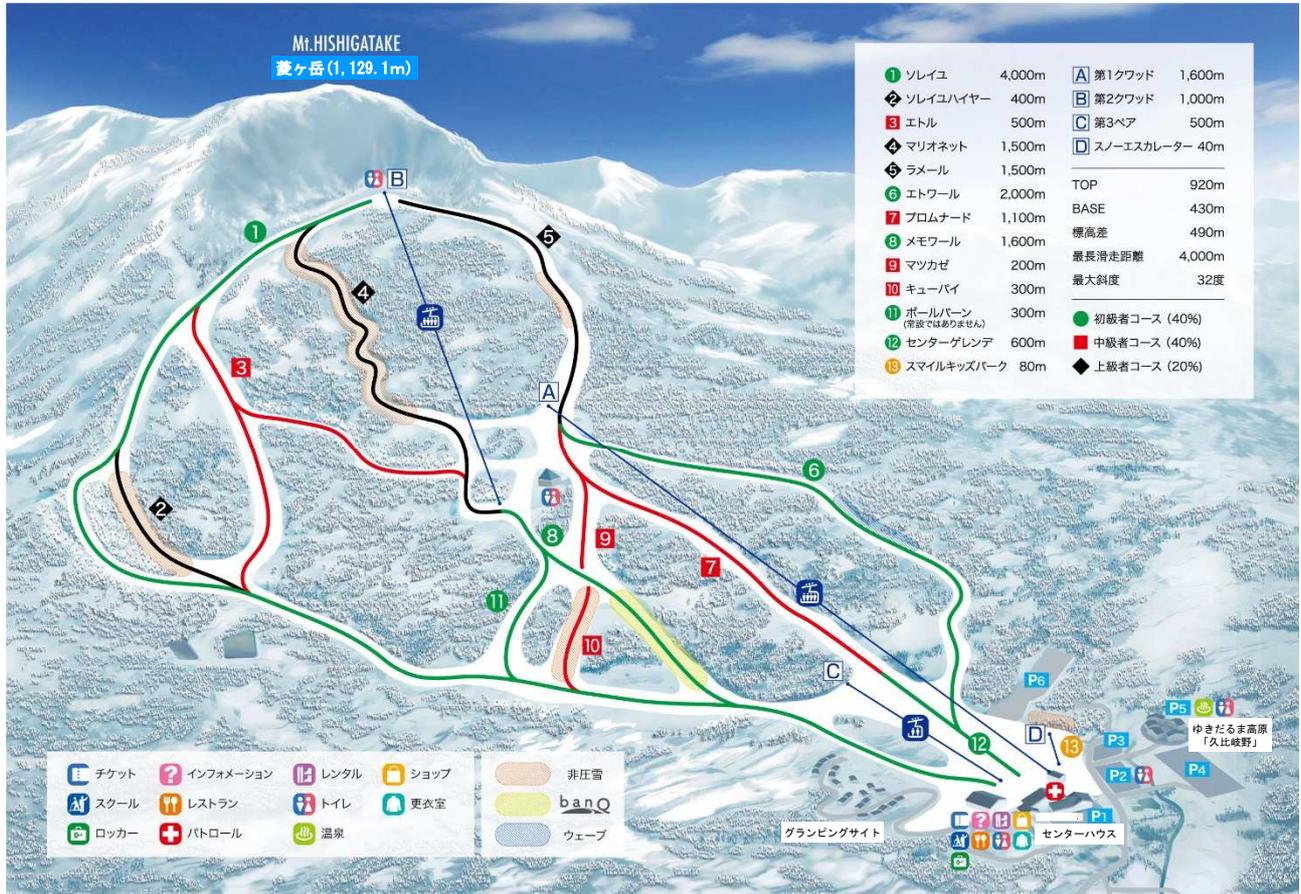
○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	安塚区須川地内
設置	平成2年度
施設内容	スキー場 ゲレンデ面積48ha
索道施設	ゴンドラ1基：(6人乗り、全長2,900m) ※令和2年度から休止 リフト4基：(2人乗り2基、4人乗り2基、全長3,800m) ※うち、2人乗りリフト1基は平成27年度から休止
宿泊施設	コテージ：20棟50室(定員300人) 久比岐野：和室7室、洋室8室(定員60人) ※令和2年度から宿泊休止、日帰り入浴施設として使用
温浴施設	ゆきだるま温泉「久比岐野」 ゆきだるま温泉「雪の湯」 ※令和4年度から廃止
体験施設	ふれあい昆虫館：1階：雪室、2階：ふれあい昆虫館 ※2階ふれあい昆虫館は令和2年度から休止 棚田動植物公園：エリア面積2ha 菱ヶ岳グリーンパーク：エリア面積24ha ※令和4年度から廃止
管理	指定管理
利用形態	日帰り及び宿泊施設

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

【スキー場コース図】



・令和3年度の実施状況

項目	金額	内容
消耗品費	9,815	クワッドリフト索輪部品 (1,595)、クワッドリフト握索機部品 (4,312)、クワッドリフト押送装置部品 (2,330)、第3ペアリフト搬器部品 (918)、第3ペアリフト受索輪部品 (660)
光熱水費	879	源泉機械棟電気料
修繕料	29,986	圧雪車基本整備 (6,636)、圧雪車修繕 (1,542)、乗用草刈機基本整備・修繕 (675)、スノーモービル基本整備・修繕 (721)、ビレッジ棟外通路修繕 (4,671)、第1クワッドリフト山頂駅内レール等修繕 (4,488)、久比岐野池埋立修繕 (2,123)、久比岐野受電室屋根葺替修繕 (953)、第2クワッドリフト支えい索切詰修繕 (2,059)、センターハウス吸収冷温水機修繕 (1,056) 等

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

項目	金額	内容
通信運搬費	430	Wi-Fi回線使用料
手数料	730	軸受け振動検査手数料(374)、ばい煙測定手数料(343)、ショベルローダー車検手数料(13)
保険料	9	ショベルローダー自賠責保険料
委託料	396	建築設備・防火設備点検委託料
使用料及び賃借料	2,454	除雪重機賃借料(1,279)、AED賃借料(238)、無線機賃借料(158)、国有林野土地借上料(779)
工事請負費	10,912	第1クワッドリフト常用・非常用制動機整備・制動機油圧ユニット更新工事(6,413)、第1クワッドリフト索受装置整備及び第1号柱アンカー修繕工事(4,499)
備品購入費	51,048	中型圧雪車(46,750)、小型除雪機(3,289)、救助用ソリ(1,009)
合計	106,659	

○目標達成状況

- ・ゲレンデを含む雪だるま高原施設を適切に維持管理し、非圧雪エリアを拡大したほか、2年連続の大雪の中においても適切な整備を実施したことにより、安全に営業を行うことができた。

【事業の成果】

- ・施設及び装置機器の定期的な点検や計画的な修繕を実施するなど、維持管理を適切に行ったことにより施設全体を安全に運営できた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・雪だるま高原施設は、設置後32年が経過し、経年劣化による不具合が増加している。スキー場をめぐる環境変化に対応した施設の在り方を検討し、事故防止及び長寿命化のため必要な修繕を適時適切に実施する。
- ・源泉ポンプの故障により、ゆきだるま温泉「久比岐野」を令和4年3月17日から休館し、キューピットバレイ夏季営業に間に合うよう修繕工事を実施した。故障原因を探り、今後故障が起らないよう対策を講じていく。

【執行残額について】

入札差金：消耗品費、委託料、工事請負費、備品購入費 15,014
 その他：事業実施に伴う執行残 809

(単位：千円)

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,601	1,740				8 (諸収入)	1,732
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	861	92		22	747	

【目的】

休止施設を適切に維持管理するとともに、霧ヶ岳登山や地域イベント等に、屋外トイレ、駐車場を有効利用する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 浦川原区小谷島 1217 番地 1
 設置 本館：平成4年度
 新館：平成5年度
 構造 本館：木造一部鉄筋コンクリート造地上1階地下1階建て
 新館：木造2階建て
 施設内容 本館・新館 ※平成29年度から休止
 その他附属施設：遊歩道、トイレ棟
 面積 延床 1,612.5 m² (本館 1,260.0 m²、新館 352.5 m²)
 管理 直営
 開設期間 遊歩道及びトイレ棟：4月下旬～11月中旬
 利用形態 公園施設

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	4	27	-	8
	合計	4	27	-	8
②支出	施設維持管理費	2,701	3,202	2,601	1,740
	うち委託料	1,273	1,150	1,708	997
	その他	-	-	-	-
	合計	2,701	3,202	2,601	1,740
③公費投入額 (②-①)		2,697	3,175	2,601	1,732
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		-	-	-	-

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

・公の施設の適正配置計画に基づき、令和4年度末をもって廃止の予定である。

【執行残額について】

事業費節減：地権者との協議による借地料の減 92
 入札差金：PCB含有検査委託料の入札差金 22
 その他：事業実施に伴う執行残 747

(単位：千円)

決算書 (P288～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
22,462	18,579			3,900	2,498 (使用料、財産収入 補助金、諸収入)	12,181
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,883				3,883	

【目的】

豊かな自然と日本の原風景、そこに生きる人々の暮らしや文化をいかした「体験型観光」の受入れを推進することにより、都市部の住民と地域住民との交流を促進し、地域経済の活性化を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・利用者数：2,700人（うち宿泊750人、日帰り1,950人）

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大島区田麦 1096番地2
設置	宿泊棟：平成3年度 体験棟：平成5年度
構造	宿泊棟：鉄筋コンクリート造2階建て 体験棟：木造一部2階建て
施設内容	宿泊棟：客室7室、食堂、浴室2室 体験棟：広間、調理体験室、座敷、奥座敷
面積	延床 967.07 m ² （宿泊棟 711.56 m ² 、体験棟 255.51 m ² ）
管理	直営（業務委託）
利用形態	日帰り及び宿泊施設

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			目標	実績
利用者数	3,611人	1,011人	2,700人	819人
うち宿泊	1,235人	194人	750人	86人
うち日帰り	2,376人	817人	1,950人	733人

決算書 (P288～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	3,505	677	2,832	416
	その他	10,505	1,727	8,441	2,082
	合計	14,010	2,404	11,273	2,498
②支出	施設維持管理費	24,767	16,386	22,462	18,579
	うち委託料	12,217	9,522	10,076	9,324
	その他	-	-	-	-
	合計	24,767	16,386	22,462	18,579
③公費投入額 (②-①)		10,757	13,982	11,189	16,081
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		2,979	13,830	4,144	19,635

○目標達成状況

- ・新たに日帰りイベントを実施するなど、利用者数を増やすための取組を行ったものの、度重なる新型コロナウイルス感染症のまん延により、主な利用者である田舎体験や合宿での県外利用者のキャンセルが相次ぎ、宿泊・日帰りともに目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、県外利用者との交流ができなかったが、新規も含め県内の学校の体験旅行の受入れが増加したほか、個人・家族向けの独自イベントを通じて、新たな利用者との交流を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・今後はアフターコロナを見据え、感染症対策を講じながら、首都圏の学校等との交流再開を働き掛けるとともに、独自イベントを開催して新たな利用者を獲得し、リピーターを含め更なる施設の利用促進を図る。
- ・施設・設備は建設から30年が経過し老朽化が進んでいることから、利用者の安全や利便性に配慮しながら計画的な修繕を行い、適切な維持管理に努める。

【執行残額について】

その他：利用者数が減少したことによる賄材料費、光熱水費及び施設管理委託料等の執行残
3,883

(単位：千円)

決算書 (P290～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,930	2,919			1,400	432 (繰入)	1,087
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	11				11	

【目的】

豊かな自然と田舎の生活文化に触れる憩いの場を提供することにより、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・利用者数：6,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 牧区池舟2番地
 設置 昭和53年度
 構造 ふるさとの家 木造2階建て
 ふるさとアピール館 木造2階建て(鉄筋コンクリート造地下1階)
 施設内容 ふるさとの家 厨房、食堂、客間
 ふるさとアピール館 ※平成27年度から休止
 面積 延床631.81㎡(ふるさとの家214.5㎡、ふるさとアピール館417.31㎡)
 管理 直営(業務委託)
 利用形態 体験研修施設

※平成27年度から「ふるさとアピール館」を休止しているが、地元団体から、イベントや地域の交流事業などでの施設使用希望があり、平成30年度から施設使用を許可している。

※平成15年度から「ふるさとの家」で地域団体の友牧会が施設使用許可を受け、蕎麦店「木草庵」の営業を開始。当初、7月～9月は「ふるさとアピール館」で、その他の期間は「ふるさとの家」で営業。平成26年度からは「ふるさとの家」のみで通年営業を行っている。

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			目標	実績
利用者数	7,276人	4,884人	6,000人	7,043人

決算書 (P 290～P 291)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	447	362	456	432
	合計	447	362	456	432
②支出	施設維持管理費	2,384	2,218	2,930	2,919
	うち委託料	1,408	1,515	1,837	1,836
	その他	-	-	-	-
	合計	2,384	2,218	2,930	2,919
③公費投入額 (②-①)		1,937	1,856	2,474	2,487
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		266	380	412	353

○目標達成状況

- ・利用者数は目標に対して 1,043 人多い 7,043 人となり、目標を達成した。

【事業の成果】

- ・「茅葺屋根」の古民家である「ふるさとの家」では、市が使用を許可して、地元団体がそば屋を経営しており、固定客や新規客が SNS に画像等をアップしたことで、急激に利用客数が増加し、牧区のシンボルとして区内外から利用がある。
- ・令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が激減したが、令和 3 年度は以前の賑わいが戻ってきた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・「ふるさとアピール館」は、地元団体へ施設の使用を許可しているところであり、引き続き安全に使用できるよう適切に維持管理する。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 11

(単位：千円)

決算書 (P290～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,748	2,586			1,300	61 (使用料、謝収)	1,225
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	162			118	44	

【目的】

地域の特性及び資源を活用した体験型観光施設として、都市部の住民との交流促進を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・利用者数：3,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	牧区原 991 番地
設置	平成 11 年度
構造	木造 2 階建て
施設内容	研修室 1 室、ミーティングルーム 1 室、体験調理室・実習室 1 室、ホール 1 室、ふれあい広場
面積	延床 568.34 m ²
管理	直営 (業務委託)
利用形態	研修集会施設

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			目標	実績
利用者数	2,315人	842人	3,000人	986人

決算書 (P 290～P 291)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	6	0	0	10
	その他	77	44	95	51
	合計	83	44	95	61
②支出	施設維持管理費	5,428	2,694	2,748	2,586
	うち委託料	2,920	1,681	1,684	1,562
	その他	-	-	-	-
	合計	5,428	2,694	2,748	2,586
③公費投入額 (②-①)		5,345	2,650	2,653	2,525
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		2,309	3,147	884	2,561

○目標達成状況

- ・利用者数は目標に対して 2,014 人少ない 986 人となり、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・利用者数は大幅減となったが、新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、集客を図るため、地元 N P O 法人が春の料理体験や山菜採り体験、味噌作り体験などのイベントや交流会を開催し、地域の交流施設としての役割を担った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・施設利用者が固定化しており、利用者数の増加に伸び悩んでいる。
- ・利用者の大半である地元住人が高齢化し、今後の利用も減少すると思われるが、地元 N P O 法人等による新規イベントの実施や地元団体の利活用の促進を図るとともに、引き続き、越後田舎体験事業での利用を促進していく。

【執行残額について】

入 札 差 金：施設管理委託料	118
そ の 他：事業実施に伴う執行残	44

(単位：千円)

決算書 (P290～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
10,958	10,815			3,200	245 (使用料、財産収入、 譲収入)	7,370
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	143				143	

【目的】

道の駅として施設を訪れる観光客等の「休憩場所の確保」と「利用しやすい環境整備」を行うとともに、地域の特産品や観光情報を発信することにより、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・利用者数：78,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 吉川区杜氏の郷1番地
 設置 平成15年度
 施設内容 情報発信施設：木造1階建て 218.14㎡
 公衆トイレ：木造1階建て 69.71㎡
 駐車場 265台
 面積 延床 287.85㎡
 管理 直営(業務委託)
 利用形態 休憩施設等

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			目標	実績
利用者数	70,796人	67,641人	78,000人	77,875人

決算書 (P 290～P 293)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	11	-	10	-
	その他	249	264	243	245
	合計	260	264	253	245
②支出	施設維持管理費	6,462	6,959	10,958	10,815
	うち委託料	3,688	3,734	4,021	4,004
	その他	-	-	-	-
	合計	6,462	6,959	10,958	10,815
③公費投入額 (②-①)		6,202	6,695	10,705	10,570
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		88	99	137	136

○目標達成状況

- ・利用者数は、目標に対して 125 人少ない 77,875 人となったが、ほぼ目標を達成した。

【事業の成果】

- ・農産物直売所では地域の農産物や特産品を中心に販売し、道の駅の集客に成果を上げている。
- ・広場や駐車場を利用した地域イベントが行われるなどの交流人口の拡大に寄与した。
- ・地域の観光ポスター・パンフレット等を配置し、観光客への情報提供を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域と連携したイベントの実施や道の駅の関係団体共同での取組を促すことにより、道の駅全体としての魅力向上を図っていく。
- ・今後、立上げを予定するホームページを活用し、積極的な情報発信、PRに努める。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 143

(単位：千円)

決算書 (P292～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,026	4,020				1,529 (譲入)	2,491
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	6				6	

【目的】

坊ヶ池湖畔公園を適切に維持管理するとともに、地元団体が、休止施設を交流事業などで安全に使用できる状態を確保する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	清里区青柳 3438 番地		
設置	山荘京ヶ岳 本館	平成 2 年度	
	山荘京ヶ岳 新館	平成 6 年度	
	フォークハウス湖畔	平成元年度	
構造	山荘京ヶ岳 本館	木造 2 階建て	
	山荘京ヶ岳 新館	木造 2 階建て (地下：鉄筋コンクリート造)	
	フォークハウス湖畔	鉄筋コンクリート造 3 階建て	
施設内容	山荘京ヶ岳 本館、新館	※平成 29 年度から休止	
	フォークハウス湖畔	※平成 29 年度から休止	
	坊ヶ池湖畔公園	炊事場・トイレ	
面積	延床 1,903.39 m ² (本館 499.44 m ² 、新館 1,036.05 m ² 、湖畔 367.9 m ²)		
管理	直営		
開設期間	坊ヶ池湖畔公園	4 月 12 日～11 月 30 日	
利用形態	公園施設		

※平成 29 年度から「山荘京ヶ岳」、「フォークハウス湖畔」を休止している。

地元団体から、イベントや地域交流など地域活性化を目的とした事業を行うため施設使用希望があり、山荘京ヶ岳新館の一部(大広間・厨房)の使用を許可している。

決算書 (P292～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

○施設の管理実績

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	688	398	1,911	1,529
	合計	688	398	1,911	1,529
②支出	施設維持管理費	3,892	3,867	4,026	4,020
	└─ うち委託料	1,804	1,811	1,823	1,823
	その他	-	-	-	-
	合計	3,892	3,867	4,026	4,020
③公費投入額 (②-①)		3,204	3,469	2,115	2,491
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		-	-	-	-

【事業の成果】

- ・施設内設備等の維持管理を適切に実施した上で、地元団体が市の使用許可を受け、5月～11月の毎週土曜、日曜日に地域交流を目的にカフェを運営した。(利用者数5,491人)

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地元団体による施設の利活用を支援するとともに、今後の利用動向を踏まえ、施設の在り方を検討する。

【執行残額について】

その他：燃料費及び光熱水費の執行残 6

(単位：千円)

決算書 (P292～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,085	12,906		150		3,757 (使用料、財産収入、 譲収入)	8,999
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	179				179	

【目的】

名立区の自然をいかした余暇活動や心身の健康の保持及び増進の場として、当施設を適切に維持管理し、周辺施設を含めた利用客の増加を促す。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・利用者数：13,600人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	名立区名立小泊798番地1
設置	平成5年度
施設内容	ビッグボブスレー：全長470m ローラースライダー：全長190m アスレチック：木製15基 芝生広場：1,200㎡ 展望台：木造 地下1階・地上2階建て 延床299.42㎡ バーベキューハウス：木造1階建て 78.67㎡ パーゴラデッキ付休憩棟：木造1階建て 216.37㎡ 管理棟：木造1階建て 132.2㎡ 等
面積	約35ha
営業期間	4月17日～10月31日の土曜・日曜・祝日（夏休みは金曜、お盆も営業）
管理	直営
利用形態	公園施設

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			目標	実績
利用者数	14,755人	8,313人	13,600人	13,639人

決算書 (P292～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	4,100	2,281	4,086	3,746
	その他	187	513	191	161
	合計	4,287	2,794	4,277	3,907
②支出	施設維持管理費	10,704	9,265	13,085	12,906
	うち委託料	777	742	768	767
	その他	-	-	-	-
	合計	10,704	9,265	13,085	12,906
③公費投入額 (②-①)		6,417	6,471	8,808	8,999
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		435	778	648	660

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、遠出自粛等による市民利用や屋外レジャーの需要が増え、利用者数は目標に対して39人多い13,639人であり、目標を達成できた。

【事業の成果】

- ・予定した修繕を迅速に実施し、適切な維持管理を行った結果、事故の発生は無く、安全な利用環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・風害や塩害により施設や設備の老朽化が進行しているため、引き続き適切な点検と計画的な修繕を行っていく。また、老朽化するボブスレースレッドの更新も計画的に行っていく。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 179

(単位：千円)

決算書 (P292～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,791	9,692			5,200	591 (使用料、諸収入)	3,901
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	99				99	

【目的】

自然環境をいかした余暇活動の場を提供し、光ヶ原高原、関田山脈の魅力を伝えるとともに、信越トレイルのビジターセンターとしての利用を促進することにより、地域の活性化を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・利用者数：14,890人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	板倉区関田 4046 番地 2
設置 構造	昭和 63 年度 グリーンパル光原荘：木造一部鉄骨造 2 階建て 光ヶ原高原センター：鉄筋コンクリート造 2 階建て
施設内容	グリーンパル光原荘：客室 7 室、休憩室 2 室、シャワールーム キャンプ場：バンガロー（木造 4 棟）、テントサイト（10 か所）、 野外トイレ（1 棟）、炊事場（1 か所）ほか 光ヶ原高原センター：トイレ、休憩スペース
面積	29.77ha
管理	直営（業務委託）
利用形態	グリーンパル光原荘：日帰り及び宿泊施設、光ヶ原高原センター：休憩施設

決算書 (P 292～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			目 標	実 績
グリーンパル 光原荘周辺	12,491 人	10,043 人	11,000 人	9,333 人
キャンプ場	366 人	607 人	390 人	526 人
高原センター	2,888 人	2,628 人	3,500 人	3,320 人
合計	15,745 人	13,278 人	14,890 人	13,179 人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	440	642	605	522
	その他	440	115	90	69
	合計	880	757	695	591
②支出	施設維持管理費	10,017	9,713	9,668	9,692
	うち委託料	5,658	6,631	6,527	6,859
	その他	-	-	-	-
	合計	10,017	9,713	9,668	9,692
③公費投入額 (②-①)		9,137	8,956	8,973	9,101
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		580	674	603	691

○目標達成状況

- ・利用者数はコロナ禍の影響により目標に対して 1,711 人少ない 13,179 人であった。

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、屋外レジャーの需要が高まり、グリーンパル光原荘や周辺のテントサイトは、多くのハイカーの宿泊や休憩に利用され、交流人口の拡大に貢献した。
- ・信越トレイルの拠点施設及び県境施設として、周辺地域の観光情報等を提供し、上越市の観光振興に努めた。

決算書 (P292～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・令和4年度から光ヶ原高原観光総合施設条例を廃止したが、地元団体と連携しながら、利活用策を再考し利用促進を図っていく。各施設の利活用等の状況は下表のとおり

区分	令和4年度の利活用等の状況
グリーンパル光原荘	グリーンパル光原荘は閉鎖するが、駐車場は、景観を楽しむ来訪者のために常時開放
キャンプ場	(一財) ぬしんの里観光公社が借り受け、光ヶ原高原ファン倶楽部が主体となり引き続きキャンプ場として運営
光ヶ原高原センター	市が行政財産として管理し、地域主催のイベントでの利用など地域からの要望に応じ開放

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 99

(単位：千円)

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
57,454	47,016	615			350 (諸収入)	46,051
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	10,438	614	1,680	39	8,105	

【目的】

上越市観光交流ビジョンに掲げた将来のありたい姿を、市民や事業者などと共有しながら、観光PRや旅行者の受入環境の整備など、様々な取組を一体となって進めることにより、一年を通じて楽しい交流が生まれる観光地域づくりを推進する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観光地域づくり実践事業 1,435

○令和3年度目標

当市の観光をけん引する担い手の一層の活躍と、互いに連携を深めることによる新たな取組への展開を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・様々な担い手が各々の取組に役立つ知識や技術を習得し、観光やおもてなしに資する事業を創出するため、観光地域づくり実践未来塾において、連続講座を5回実施した。
- ・市民自らが当市の魅力を発信しようとする機運を高めるため、SNSを活用した「#(ハッシュタグ)上越もよう」フォトコンテスト及びキャンペーンを4回実施し、年間で5,620件の投稿があった。(令和4年3月末現在の総投稿件数：9,070件)

○目標達成状況

- ・観光地域づくり実践未来塾は、講義とワークショップの実施により、担い手が知識や技術を習得するとともに、担い手同士の横のつながりを築く機会となった。



#上越もようPR用名刺カード



フォトコンテスト入賞作品

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

地域活性化起業人交流プログラム活用事業 3,961

○令和3年度目標

観光関連企業から職員の派遣を受け、そのノウハウや知見をいかし、地域資源をいかしたプログラムの開発やプロモーションの強化、マーケティング技術の普及を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・(株)阪急交通社と令和3年7月に協定を締結の上、職員1人の派遣を受け、公益社団法人上越観光コンベンション協会を従事場所として、地域資源をいかした観光コンテンツの造成や、商談会等における観光営業、旅行商品の造成支援等に取り組んだ。

○目標達成状況

- ・地域資源の情報収集や観光事業者との関係構築を積極的に進めながら、専門的なノウハウや知見をいかして、プログラム開発やプロモーション活動等に取り組むことができた。

観光営業事業 808

○令和3年度目標

コロナ禍における域内交流の流れを踏まえ、時季に応じた大都市圏をターゲットとした情報発信に加え、近隣地域への情報発信を強化し、誘客促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・公益社団法人上越観光コンベンション協会や市内観光事業者と連携し、本市への観光誘客に向けた営業活動を行った。
 - (1) 首都圏・関西圏・近隣地域（県内、長野県等）への営業活動（334）
 - ・新潟県観光協会が主催する観光商談会に市内観光事業者とともに参加した。
 - ・首都圏、関西圏、近隣地域の旅行事業者への訪問営業を実施した。
 - ・首都圏や県内で開催された集客イベントに参加し、観光PRを実施した。
 - (2) 観桜会における観光PR活動（22）
 - ・JR東日本が運行する臨時列車「高田お花見号」利用者へ観光パンフレットを配布した。
 - ・姉妹都市や集客プロモーションパートナー都市を紹介する観光PRスペースを設置した。
 - (3) 上越妙高駅新幹線改札前PRスペースでの情報発信（142）
 - ・JR東日本が情報発信拠点として整備したスペースを活用し、駅利用者に対し本市の集客イベントや観光素材など本市の魅力発信した。
 - (4) その他事業関係費（310）

○目標達成状況

- ・新潟県観光協会が主催する観光商談会や、旅行事業者への訪問営業を通じ、観光素材やモデルコースの提案を行い、旅行商品の造成を促した。また、コロナ禍の状況を鑑みながら徐々に再開されるようになってきた集客イベントなどの機会を捉え、本市の観光PRを実施することができた。
- ・市内の身近な情報を上越観光Naviで発信したほか、SNSに短編動画を掲載し、若年層へ本市の観光情報を届けることができた。



短編動画（リアル動画）

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

各種団体等との連携事業 4,795

○令和3年度目標

コロナ禍における域内交流の流れや、アフターコロナにおける国内外の観光需要回復などを見据えながら、県内外の自治体や観光事業者と連携し、効果的な情報発信や域内周遊の促進に向けた取組を進める。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 各団体負担金 (4,783)

各協議会等に参画し、県内外の自治体や観光事業者と連携し、効果的な情報発信や広域周遊観光の促進に向けた取り組みを実施した。

・ほくほく線沿線地域振興連絡協議会 (1,212)

沿線の観光スポットや飲食店情報を掲載した「ほくほくマガジン」の発行に加え、Facebookや「ほくほくマガジンWeb」を活用し、駅周辺の飲食店情報など列車の旅を想定した情報発信を行った。また、ほくほく線の利用促進につながるイベントへの支援を行い、沿線の賑わい創出と交流人口の拡大を図った。

・公益社団法人新潟県観光協会 (1,802)

「にいがた観光ナビ」を中心とした県内観光情報の発信、商談会の開催や誘客宣伝活動等を行い、地域経済の持続的な発展と活力に満ちた地域社会づくりの実現に寄与した。

・新潟県国際観光テーマ地区推進協議会 (-)

新型コロナウイルス感染症終息後の誘客を見据え、訪日メディアのライター及びインフルエンサーによる当市の情報発信のほか、有力なツアー手配事業者を招へいし、当市を含む上越地域の観光コンテンツを視察するツアーが実施され、当市の観光PRを実施した。

・にいがたスキー100年委員会 (166)

県内のスキーに係る基礎情報の整備、各種メディアを活用した効率的かつ効果的な情報収集と情報発信を行った。

・上信越ふるさと街道協議会 (10)

長野県・群馬県・新潟県にまたがる各街道沿線の関係団体が、協議会のホームページを通じて、ルートマップや各市のおすすめ散策コースを紹介するなど、誘客促進に向けた情報発信を行った。

・北陸新幹線停車駅都市観光推進会議 (400)

台湾・香港・アメリカ・オーストラリアに向けて、Facebookを活用し、構成13都市の観光情報を届け、新型コロナウイルス感染症終息後のインバウンドの誘客を促進した。

・日本さくらの会 (10)

国花である「桜」の愛護、保存、普及活動等の取組を行った。

・「うまさぎっしり新潟」観光推進協議会 (766)

「使っ得！にいがた県民割キャンペーン」について、テレビスポットCM、Web広告、新聞広告などを使った広報活動を実施した。また、イベント開催が困難な状況下における、新たな発信の方法として、ライブ中継を含む県内各エリアからの動画配信を行うデジタル観光展を実施した。

・北アルプス日本海広域観光連携会議 (315)

デジタルスタンプラリーを通じ、域内回遊を促進したほか、えちごトキめき鉄道におけるサイクルトレインの実施に向けた協議とマップの作成を行い、サイクリストの利便性向上を図った。

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

・関東観光広域連携事業推進協議会 (100)

外国人旅行者を誘客するための各種取組（動態調査、モニターツアー、プロモーション事業、情報発信、インバウンドセミナーの実施等）により、関東（新潟県、長野県、福島県を含む）における外国人旅行者の受入環境整備の推進及び国際的な観光認知度の向上を図った。

・新潟県スキー観光産業振興協議会 (2)

県内のスキーに関するイベントの実施や各種イベントでの情報発信により、県内スキー観光産業の振興を図った。

(2) 会議等への出張旅費等 (12)

○目標の達成状況

- ・各種団体に参画し、各々の目的やターゲットに合わせた情報発信を実施しながら、コロナ禍において需要の高い域内周遊を促進したほか、新型コロナウイルス感染症の収束後の誘客に向けた取組を推進した。

上越地域連携事業 1,000

○令和3年度目標

コロナ禍における旅行形態の変化を捉えながら、関係の深い3市による広域周遊観光に向けた事業を実施し、当地域への誘客につながる観光資源の強化を図る。

○実施内容、これまでの経過等

広域観光パンフレット作成委託料 (1,000)

- ・上越・妙高広域観光パンフレット「上越・妙高 (jam旅)」を年2回発行した (秋冬号・春夏号、各 27,000 部)。
- ・紙媒体のパンフレットと併せてデジタルブック対応データを作成し、上越観光Navi等を通じて幅広く観光情報を発信した。
- ・上越地域が誇る海から山までの豊かな自然を体感することができる環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」の令和4年度開催に向け、カヤックの実証実験を実施した。

○目標達成状況

- ・近隣自治体や県、観光協会と連携し、上越地域の様々な魅力を効果的に発信することで認知度の向上に寄与した。また、令和4年度の「SEA TO SUMMIT」の開催に向け、実証実験やコースの確認を通じ体制を整えた。

佐渡広域観光誘客事業 857

○令和3年度目標

佐渡市と連携した情報発信や周遊観光促進に向けた取組を強化することにより、小木直江津航路の利用促進と両市の観光振興を図る。

○実施内容、これまでの経過等

佐渡市・上越市観光・航路連携協議会負担金 (792)

- ・小木直江津航路を利用し、両市に立ち寄る又は宿泊する募集型企画旅行を造成した旅行会社に対し、補助金を交付した (ツアー本数3本、補助金額485千円)。
- ・佐渡島内におけるバスガイド不足の対応策として、上越市内バス事業者のガイドを対象に島内での案内ができるよう現地研修を実施した。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

・外国人旅行者向けチケット「SADO GOLD PASSPORT」について、令和4年度から小木直江津航路でも利用できるよう新潟・佐渡観光推進機構株式会社と調整を行った。
 その他会議等出席 (65)

○目標達成状況

・コロナ禍により、当初参加を予定していたPRイベントが中止となったが、募集型企画旅行への補助事業を通じて旅行商品の造成を促したほか、上越市内バス事業者のガイドを対象に佐渡市内で研修を実施するなど、航路の利用促進とともに観光振興につながる取組を実施することができた。

観光宣伝物作成事業 2,620

○令和3年度目標

市内の魅力ある観光資源について、紙媒体に加え、上越観光Naviやけんけんず公式SNS等のWebでの閲覧を誘導し、より時宜を捉えた情報発信を行うことで誘客促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 各種パンフレットの作成 (1,698)

名称	内容	作成数(部)	決算額
春日山城跡めぐり [増刷]	春日山城跡及び周辺を紹介し、城跡の散策を促すもの	10,000	550
直江津さんぽ [増刷]	直江津エリアに残る歴史などを紹介し、回遊を促すもの(2年分)	30,000	759
高田まちなか回遊 マップ [増刷]	高田まちなかのスポット等を紹介し、回遊を促すもの(2年分)	30,000	389

(2) 画像編集ソフトの購入 (54)

・観光PR時に掲出するポップなどの作成に必要な画像編集ソフトの年間使用権を購入した。

(3) JR首都圏主要駅におけるポスターの作成・掲出 (517)

・首都圏のJR駅利用者に対し、「第97回高田城址公園観桜会」をPRするため、ポスターの作成及び掲出を行った。

(4) 上田市・上越市桜まつりポスターの作成・掲出 (149)

・両市で開催している春の桜まつりを共同で発信することにより、姉妹都市として市民交流の促進と連携強化を図った。

(5) 上越市観光イメージポスターの印刷 (202)

・上越市観光イメージポスターの在庫が不足したため増刷した。

○目標達成状況

・増刷したパンフレットに、上越観光Naviで紹介している動画のQRコードを添付し、より具体的に上越市の魅力をイメージできるよう情報発信することができた。

観光インフォメーション利用環境整備事業 3,435

○令和3年度目標

「上越観光Navi」と公益社団法人上越観光コンベンション協会が運営する「上越観光ネット」を統合し、より効率的・効果的な情報発信を図る。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

○実施内容、これまでの経過等

観光インフォメーションウェブサイト保守管理委託料 (3,435)

- ・令和3年6月末に当市観光情報サイト「上越観光Navi」と公益社団法人上越観光コンベンション協会の「上越観光ネット」を統合し、当市の観光情報サイトの一本化を行った。
- ・当市のまちなみや自然、歴史、食を始めとした様々な魅力をけんけんず公式Instagramで発信した。
- ・「#上越もよう」で写真とともに広く募集した市内お出かけプランを上越観光Naviで紹介し、パワースポットや歴史・文化などそれぞれの目的に合わせて回遊することができるよう情報発信した。



統合後の上越観光Navi

○目標達成状況

- ・「上越観光Navi」と「上越観光ネット」の統合及び公益社団法人上越観光コンベンション協会との掲載分野の役割分担の明確化により、効率的、かつ利用者目線に立った情報発信をすることができた。

謙信公ゆかりの地振興事業 1,011

○令和3年度目標

- ・上越市埋蔵文化財センターで開催する企画展の入込数：27,800人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 施設管理運營業務委託 (550)

- ・上越市埋蔵文化財センターにおいて、企画展「越後上越 謙信公と春日山城展」を開催した。

会 期：令和3年4月1日（木）～令和4年3月31日（木）

入場者数：	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	33,312人	20,298人	22,713人

内 容：上杉謙信公の生涯を紹介するパネルやゆかりの品の展示を始め、春日山城のジオラマ、ゲームやクイズも取り入れ、楽しみながら学ぶことができる展示を実施した。

※甲冑体験コーナーは、新型コロナウイルス感染予防のため中止

周知方法：「上杉謙信公のふるさと・上越市」の知名度向上及び企画展への誘客促進を図るため、企画展の周知チラシを作成し、市内外に広く配布するとともに、上越IC、上越高田ICから企画展会場への誘導看板を設置し、案内を行った。

(2) 商標登録更新業務委託 (150)

- ・謙信公が出陣前に振る舞った料理を再現した「かちどき飯」の商標権を更新（10年ごと）した。

(3) ノベルティ作成業務委託 (101)

- ・集客イベント等における観光PR時に来場者の関心を高め、かつ手軽に情報発信を行うツールとして、けんけんず公式Instagramへの誘導を促すオリジナルデザインのウェットティッシュを作成し、配布した。

(4) その他事業関係費 (210)



ウェットティッシュ

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

○目標達成状況

- ・企画展の入込数は 22,713 人となり、昨年度より 2,415 人増加したものの目標を達成することができなかった。

「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業 24,023

○令和 3 年度目標

コロナ禍において、従来の観光 P R 等に加え、SNS や動画投稿を通じて幅広く当市の魅力を発信し、知名度向上と誘客促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 観光客受入体制充実事業委託料 (23,536)

- ・春日山城跡や上越市埋蔵文化財センターを訪れる観光客に対し、観光ガイド等のもてなし活動を行った。
- ・市内の観光資源やスポット、食について武将隊自らが赴き紹介する動画を作成し、武将隊公式 Y o u T u b e チャンネルや SNS を通じて広く発信した。

(2) 事業用車両点検整備等 (487)

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での観光案内が減少したものの、SNS や Y o u T u b e を活用した情報発信を積極的に行い、知名度の向上と誘客促進を図った。

灯の回廊事業 2,583

○令和 3 年度目標

- ・入込数：28,000 人

○実施内容、これまでの経過等

開催日 令和 4 年 2 月 26 日 (土)

会場 安塚区、大島区、浦川原区、牧区、高士区 (岩の原葡萄園周辺)、名立区 (不動地域)

主催 安塚キャンドルロード実行委員会、大島雪ほたるロード実行委員会、うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会、牧まちづくり実行委員会、高士地区雪まつり実行委員会、不動森あげ米かい、上越市

事業内容 上越市の冬のイベントとして、安塚区、大島区、浦川原区、牧区、高士区及び名立区の雪灯りイベントを開催し、実施地区をつなぎ合わせた一体的な P R を行った。

・経費の内訳

消耗品 (ろうそく、紙コップ)	(1,942)
ポスター・パンフレット作成	(385)
パンフレット市内全戸配布運搬料	(254)
道路使用許可申請手数料	(2)

・入込数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入込数	9,220人	7,970人	11,930人

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

○目標達成状況

- ・令和2年度に比べ、イベントの開催会場や茶屋の開設数が増加するなど規模を拡大し開催したことで、入込数が1.5倍程度の増となったものの、県内にまん延防止等重点措置が適用されていたことから、入込数は11,930人となり、目標を達成することができなかった。

インバウンド推進事業 430

○令和3年度目標

アフターコロナにおけるインバウンドの回復を見据え、市内の観光事業者が取り組む受入態勢整備を支援するとともに、当市の観光資源を広く発信する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 上越市インバウンド推進事業補助金 (335)

- ・市内の観光事業者が外国人旅行者の受入環境整備の一環として開催した研修会や多言語パンフレット、ウェブサイトの新規作成に要する費用を補助することにより、当市への誘客促進と滞在しやすい環境づくりを支援した。

(2) 展示会等出展 (85)

- ・オンラインで開催された世界最大規模の国際観光商談会「Visit Japanトラベルマート2021」に参加し、台湾やオーストラリアを含む17の海外旅行会社に対し、当市の観光資源のPRを行い、旅行商品の造成を促した。

(3) その他事業関係費 (10)

- ・上越市インバウンド推進協議会の主催により、市民や事業者が外国人旅行者をもてなすための心構えを身につけることを目的に、英語表現を学ぶセミナーを開催した。

○目標達成状況

- ・インバウンドの回復に備え、観光商談会において当市のPRを行うとともに、市民及び事業者向けのセミナーの開催やインバウンド推進事業補助金等の交付により、受入環境を整備することができた。

信越トレイル利用促進事業 20

○令和3年度目標

- ・信越トレイルの利用者数:6,000人(測定可能な箇所での利用者数の目標値)

○実施内容、これまでの経過等

- ・信越トレイルコースと市内観光施設への利用者増加につなげるため、上越観光Naviによる情報発信やパンフレットを配置するなどPRを行った。

・利用者数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	3,952人	3,893人	3,529人

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が3,529人となり、目標を達成することができなかった。

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

城下町高田レンタサイクル事業 38

○令和3年度目標

利用実績などにより、今後の回遊性を高める施策の検討につなげる。

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和2年度に引き続き、令和3年4月1日から11月30日までの間、高田世界館を貸出場所としてレンタサイクル事業(実証実験)を実施し、延べ124人の利用があった。

○目標達成状況

- ・利用者アンケートで年代、利用目的、行き先のほか、料金設定、満足度等について聞き取りを行い、今後の事業検討に必要なデータを収集することができた。



レンタサイクル用自転車

【事業の成果】

- ・観光地域づくり実践未来塾では、各担い手がコロナ禍における観光コンテンツづくりの事例等を学んだほか、参加者同士の連携による新たな事業が創出されるなど、担い手による実践を促す機会とすることができた。
- ・「#上越もよう」では、フォトコンテスト及びキャンペーンを通じて、市民自らが地域の魅力に改めて向き合い、その魅力を発信しようとする機運を高めるとともに、投稿者の裾野を広げることができた。
- ・国の地域活性化起業人制度を活用して(株)阪急旅行社から職員の派遣を受けながら、民間企業の経営感覚や外からの視点を取り入れて、観光事業を推進する体制を築くことができた。
- ・観光営業事業では、商談会への参加や旅行事業者への個別訪問を通じ当市を目的地とする旅行商品の造成を促進したほか、県内で開催されたイベントを通じて、来場者に対し当市の観光PRを行い、認知度の向上に努めた。
- ・上越地域連携事業では、互いの観光資源を組み合わせ、市域にこだわらない旅行者目線に立った「面」として周遊を促す観光情報を発信することができた。
- ・佐渡広域観光誘客事業では、就航船舶の変更があったものの、募集型企画旅行造成への補助や佐渡島内におけるバスガイド不足の解消に向けた当市バス事業者のガイド研修、さらには外国人旅行者向けチケット事業への参画協議など、航路利用の増加に向けた取組を実施することができた。
- ・各種パンフレットについては、コロナ禍における観光客の動向に注視しながら、作成部数の見直しと合わせて内容の一部リニューアルを行い、より効果的な情報発信を通じ、誘客促進を図ることができた。
- ・観光情報を発信する「上越観光Navi」と「上越観光ネット」の2つのホームページを統合し、効率よく情報発信ができた。
- ・上越観光NaviやSNSに、市内の観光情報やイベント情報、市内周遊のモデルコースを発信し、様々な視点から当市の魅力を届けることができた。
- ・城下町レンタサイクル事業において、アンケート結果によると、利用目的は「観光」が主で、高田城址公園周辺や本町周辺などを訪れた利用者が多く、高田の街なか回遊観光の促進に寄与した。なお、令和4年度から、実証実験の事業者がレンタサイクル事業を引き継ぎ、自主事業として実施している。

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	観光企画費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・観光地域づくり実践未来塾については、講座内容の工夫等により担い手への支援の充実を図り、市内での回遊性の向上や滞在時間の増加につながる観光コンテンツの創出を推進していく必要がある。また、「#上越もよう」の投稿写真について、上越観光N a v iなどで紹介するほか、一部の写真のみの活用となっていることから、観光PR用の素材として積極的に活用を進める。
- ・地域活性化起業人とともに、観光事業者への支援や事業者間の連携強化等を図り、歴史や文化等の地域資源をいかした旅行商品の開発を進め、通年観光に資するコンテンツの創出を推進していく必要がある。
- ・観光営業事業については、教育旅行や団体旅行の獲得に向け、当市の補助制度や観光資源だけでなく、県や近隣市等の制度、観光資源との組合せによる商品造成の提案を行うなど、エリアで連携した営業活動を実施していく必要がある。また、個人旅行に関しては、上越観光N a v iやSNSなどを通じて、現地でしか体験できない貴重なコンテンツや季節に応じた旬の情報を継続的に発信し、当市に興味と関心を持ち、来訪を促進させる情報の届け方を検討する必要がある。
- ・上越地域の魅力を発信する取組として、現在発行している情報誌の内容の見直しや他の団体が行っている事業との連携を含め、より効果的に誘客の促進が図られるよう検討する必要がある。
- ・「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録や北陸新幹線の敦賀延伸による交流人口の拡大を見据え、新潟県の西の玄関口として、佐渡汽船や旅行事業者、周辺自治体と連携して誘客に向けた取組を展開する必要がある。
- ・観光宣伝物として作成するパンフレットは、写真の変更やレイアウトの工夫により、見た人が引きつけられる、行きたくなるような紙面構成とするとともに、上越観光N a v iやSNSに誘導することを意識しながら作成する必要がある。
- ・Webサイトのアクセス状況の分析ツールを活用して、ユーザーの動向を把握し、そのニーズに合わせたサイトの改良に努める必要がある。
- ・「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業においては、コロナ収束後に向け、春日山での対面によるおもてなしに向けた準備を進め、観覧者の再来訪に結び付けていく必要がある。

【執行残額について】

事業費節減：観光宣伝物作成事業に係る高田まちなか回遊マップの作成部数の精査による委託料の執行残	614
事業未実施：観光営業事業に係る各種イベントや商談会の中止に伴う旅費等の執行残	737
観光宣伝物作成事業に係る観光総合パンフレットの増刷見送りによる印刷製本費の執行残	943
入札差額：観光地域づくり実践事業に係る印刷製本費等の入札差金	39
その他：佐渡広域観光誘客事業に係る負担金等の執行残	1,703
各種団体等との連携事業に係る負担金の執行残	635
謙信公ゆかりの地振興事業に係る修繕料等の執行残	182
「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業に係る委託料等の執行残	1,900
灯の回廊事業に係る委託料等の執行残	246
インバウンド推進事業に係る補助金等の執行残	1,218
観光地域づくり実践事業における報償金等の執行残	343
地域活性化起業人交流プログラム活用事業に係る負担金等の執行残	1,762
事業実施に伴う執行残	116

(単位：千円)

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	友好交流促進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,347	387					387
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,960		1,960			

【目的】

海外の姉妹・友好都市との幅広い分野での相互交流により友好親善を促進するとともに、地域社会の活性化に寄与する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

オーストラリア・リリエンフェルト市との姉妹都市提携40周年記念事業の実施やオーストラリア・カウラ市の職員受入れなどを通じ、交流の絆を深める。

○実施内容、これまでの経過等

- ・オーストラリア・リリエンフェルト市と姉妹都市提携40周年の機会を捉えて、両市における交流の歴史やリリエンフェルト市を紹介したパネルの展示、オーストラリアにちなんだ料理・菓子の市内飲食店での販売など、各種記念事業を実施した。
- ・韓国・浦項市で開催された北東アジア中心都市間相互協力方策を模索するフォーラムに発表者としてオンラインで参加し、当市の産業や観光等について、北東アジアの都市に紹介した。



リリエンフェルト市との姉妹都市提携40周年記念事業オープニングセレモニー
(高田世界館を会場にオンラインで開催)

○目標達成状況

- ・オーストラリア・リリエンフェルト市との姉妹都市提携40周年記念事業を通じて、市民のリリエンフェルト市への理解・関心を高めた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、オーストラリア・カウラ市の職員の受入れを行うことはできなかったが、次年度の交流内容について、継続的に協議を行った。

【事業の成果】

- ・市内での姉妹都市関連イベントの実施やオンラインでのフォーラムへの参加など、コロナ禍においても実施可能な取組を通じて、国際交流の絆を深めることができた。

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	友好交流促進事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・オンラインを活用した新たな手法による交流を含め、交流の目的や意義を改めて整理するとともに、市民が主体となる取組を促し、友好関係を発展させていく。

【執行残額について】

事業未実施：新型コロナウイルス感染症の影響により計画した受入れが中止となったことによる
執行残 1,960

(単位：千円)

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	越後田舎体験推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,731	2,471					2,471
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	260				260	

【目的】

当市の豊かな自然、農山漁村の地域資源とそこに生きる人々の暮らしをいかした体験型観光を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

情報発信の強化などにより営業活動の充実を図るとともに、受入家庭及びインストラクターを確保し、受入数40団体以上、4,000人以上、8,000泊以上とする。

○実施内容、これまでの経過等

- ・事業主体 越後田舎体験推進協議会
- ・市内受入地域 安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、大潟区、吉川区、板倉区、清里区、三和区及び名立区（11区）

(1) 各種営業活動（775）

- ・首都圏及び関西圏域、近隣県等の旅行事業者への訪問や、Webを活用した営業活動を実施した。

(2) 越後田舎体験推進協議会負担金等（1,290）

- ・越後田舎体験の推進を目的に官民で組織している協議会への負担金（1,288）
負担金：上越市1,288（46%）、十日町市1,512（54%）
- ・第16回教育旅行シンポジウム参加費（2）

(3) 越後田舎体験事業での受入れ等に係る消耗品購入ほか（406）

○目標達成状況

- ・受入団体数はコロナ禍以前に近い水準まで回復しているものの、日帰りの受入れが多く、宿泊数は依然として少ないことから、受入数は35団体、2,576人、1,566泊となり、目標を達成することができなかった。



越後田舎体験受入れの様子

決算書 (P 294～P 297)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光交流推進課
事業名	越後田舎体験推進事業		

・越後田舎体験受入数の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
団体数(団体)	40	15	35
人数(人)	3,273	1,004	2,576
宿泊数(泊) ※延べ宿泊数	6,528	339	1,566

【事業の成果】

- ・受入数は、目標を達成することができなかったが、売上げは、宿泊施設、インストラクター及び受入家庭である市民の収入となっており、地域経済に寄与した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、関東方面から7団体、県内及び長野県から28団体を受け入れ、当地域の里山等での暮らしや農業を体験していただく機会を提供することができた。
- ・文部科学省の学習指導要領の改訂により、児童・生徒が自らを取り巻く様々な社会の課題に向き合い、解決するための資質・能力を育むことが目標として掲げられたことから、県の教育体験旅行等受入継続支援事業を活用し、新たに探究学習プログラムの造成を行い、受入数の増加に努めた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新規団体の獲得のほか、これまで受入れを行った団体から今後も来訪していただけるよう、SDGs 学習と体験プログラムを関連付けるなど、ニーズを捉えた商品開発を行うとともに、地域の魅力発信や営業活動を継続的に行っていく。
- ・児童・生徒の職業観を育成するものづくりの職場などの見学や体験を行う産業観光について、調査・研究し、新たな体験メニューを開発したい。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残

260

(単位：千円)

決算書 (P296～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
117,244	113,890	904	3,725	2,000	4,270 (使用料、財産収入、 繰越金、諸収入)	102,991
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,354				3,354	

【目的】

市内観光施設を適切に維持管理することにより、当市の豊かな自然と歴史文化に触れる場を提供し、観光誘客と地域振興を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

各公園や海水浴場等の観光施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。

○実施内容、これまでの経過等

<合併前上越市> 68,134

[維持管理施設]

春日山城跡(駐車場、公衆トイレ、多目的トイレ)、愛の風公園(公衆トイレ)、愛宕谷公園(公衆トイレ)、親鸞聖人上陸の地(駐車場)、鏡ヶ池公園、前島記念公園、芳澤記念公園(記念館)、寺町駐車場、寺町3丁目公衆トイレ、国分寺駐車場(公衆トイレ)、居多神社前駐車場(公衆トイレ)、南高田駅前輪場、林泉寺駐車場(公衆トイレ)、浄興寺公衆トイレ、高田駅前公衆トイレ、直江津駅前公衆トイレ、西ヶ窪浜公衆トイレ、心のふるさと道、南葉山登山道、なおえつ海水浴場、たにはま海水浴場、谷浜跨線橋、上越妙高駅観光案内所及び商業施設、直江津駅前観光案内所、高田駅前観光案内所、観光案内看板、公衆無線LAN等

[維持管理経費]

報酬 136 (会計年度任用職員報酬)
 報償費 86 (公園管理報償金)
 旅費 8 (会計年度任用職員費用弁償)
 需用費 12,443 (消耗品費735、光熱水費6,261、修繕料5,447)
 役員費 4,998 (Wi-Fi回線整備・使用料2,298、上越妙高駅デジタルサイネージ広告掲載料792、し尿くみ取り手数料1,908)
 委託料 41,730 (海水浴場事業委託料11,367、海岸清掃・整備委託料13,594、観光施設清掃・整備委託料3,716、公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料5,001、高田まちなかサイン整備委託料3,178等)
 使用料及び賃借料 5,184 (上越妙高駅観光案内所及び商業施設用地借上料3,367等)
 工事請負費 2,838 (春日山城跡休憩小屋解体工事)

決算書 (P 296～P 297)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

原材料費 82 (補修資材等)
 備品購入費 561 (なおえつ・たにはま海水浴場救命ボート及びアルミオール購入)
 負担金補助及び交付金 68 (たにはま海水浴場臨海学校受入整備事業補助金 64、
 公衆無線 LAN 機器電気料負担金 4)

<安塚区> 1,936

[維持管理施設]

雪だるま高原 (信越トレイル枝線、高原内国有林野)、直峰城跡 (管理棟、公衆トイレ)、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 28 (光熱水費 18、営繕修繕料 10)
 役務費 24 (浄化槽検査手数料)
 委託料 373 (公園等管理委託料)
 使用料及び賃借料 697 (雪だるま高原及び観光看板用地借地料)
 工事請負費 814 (施設看板等撤去工事)

<牧区> 743

[維持管理施設]

弘法清水自然公園、信越トレイル接続道 (宇津俣峠)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 37 (消耗品費 4、光熱水費 33)
 役務費 138 (水質検査手数料)
 委託料 494 (公園等管理委託料)
 使用料及び賃貸料 74 (弘法清水公園用地、看板用地借地料)

<柿崎区> 9,845

[維持管理施設]

柿崎中央海水浴場 (駐車場、公衆トイレ)、大出口公園 (公衆トイレ)、坂田池園地 (駐車場、遊歩道、公衆トイレ)、米山山頂避難小屋、米山登山道、下牧休憩施設、米山寺公衆トイレ、三ツ屋浜公衆トイレ、上下浜温泉源泉施設、観光案内看板等

[維持管理経費]

報酬 14 (草刈作業報奨金)
 需用費 1,523 (消耗品費 64、光熱水費 754、修繕料 705)
 役務費 477 (トイレ汲み取り手数料 460、浄化槽検査手数料 17)
 委託料 7,506 (海水浴場事業委託料 4,235、観光施設清掃・整備委託料等 3,271)
 使用料及び賃借料 298 (観光施設用地借地料)
 原材料費 27 (諸資材費)

<大潟区> 7,599

[維持管理施設]

鶴の浜海水浴場 (鶴の浜海岸、公衆トイレ)、人魚伝説公園、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 3,068 (消耗品費 19、光熱水費 227、修繕料 2,822)
 役務費 90 (トイレ汲み取り手数料等)

決算書 (P296～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

委託料 4,067 (海水浴場事業委託料 3,971、人魚伝説公園草刈り等 96)
 使用料及び賃借料 374 (看板用地借地料 326、下水道使用料 48)

<頸城区> 10,138

[維持管理施設]

大池いこいの森 (ビジターセンター、キャンプ場、遊歩道、駐車場、公衆トイレ、観光案内看板等)

[維持管理経費]

需用費 2,268 (消耗品費 16、光熱水費 343、修繕料 1,909)
 役務費 589 (トイレ汲み取り手数料等)
 委託料 2,123 (公園等管理委託料 2,043、公衆トイレ浄化槽維持管理委託料 80)
 使用料及び賃借料 684 (大池いこいの森施設用地等借地料 551、集落排水使用料 133)
 原材料費 7 (看板資材等)
 負担金補助及び交付金 4,380 (大池いこいの森施設運営補助金)
 補償、補填及び賠償金 87 (大池いこいの森等踏荒補償料)

<吉川区> 1,058

[維持管理施設]

長峰池公園 (駐車場、遊歩道、公衆トイレ)、尾神岳遊歩道・展望台、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 193 (消耗品費 25、光熱水費 95、修繕料 73)
 役務費 17 (浄化槽検査手数料)
 委託料 721 (公園等管理委託料 518、浄化槽及び清掃維持管理委託料 203)
 使用料及び賃借料 75 (観光施設等用地借地料)
 原材料費 52 (補修資材等)

<中郷区> 5,851

[維持管理施設]

泉縄文公園 (駐車場、公衆トイレ)、松ヶ峯温泉源泉施設、松ヶ峯公衆トイレ、観光案内看板等

[維持管理経費]

報酬 554 (公衆トイレ及び温泉施設、泉縄文公園会計年度任用職員報酬)
 需用費 1,727 (消耗品費 70、光熱水費 1,542、修繕料 115)
 役務費 9 (浄化槽水質検査手数料)
 委託料 3,406 (公園等管理業務委託料 3,277、公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 129)
 使用料及び賃借料 155 (観光案内看板用地借地料 143、下水道使用料 12)

<板倉区> 1,937

[維持管理施設]

箕冠城址公園、聖の窟、玄藤寺湖畔公園、山寺薬師公衆トイレ、信越トレイル接続道 (光ヶ原、筒方峠、久々野峠)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 234 (消耗品費 2、光熱水費 145、修繕料 87)
 役務費 64 (浄化槽検査手数料等)

決算書 (P 296～P 297)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等整備事業		

委託料 1,480 (公園等管理委託料 711、観光施設清掃・整備委託料 507、
公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 262)
使用料及び賃借料 150 (観光看板用地賃借料)
公課費 9 (庁用車重量税)

<清里区> 366

[維持管理施設]

信越トレイル接続道(梨平峠)

[維持管理経費]

委託料 366 (観光施設清掃・整備委託料)

<三和区> 243

[維持管理施設]

東部緑地公園(駐車場)、観光案内看板等

[維持管理経費]

委託料 140 (公園管理委託料)

使用料及び賃借料 103 (ホテル米本陣及び観光看板用地借地料)

<名立区> 6,040

[維持管理施設]

不動山登山道、観光案内看板等

[維持管理経費]

委託料 6,040 (名立漁港海岸長寿命化計画策定業務委託料 5,720、
不動山登山道整備業務委託料 320)

○目標達成状況

- 各観光施設を適切に維持管理することで、利用者の受入環境の向上を図るとともに、重大事故の発生を抑制し、観光誘客と地域振興につなげることができた。

【事業の成果】

- 各観光施設を定期的に見回り、施設の清掃や遊具の点検などを実施したほか、破損個所を適切に修繕したことで、安全・安心で快適な利用環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- 海水浴場について、利用者から安全・安心に楽しんでいただくため、離岸流対策や水難事故発生時の対応策の見直しを行うとともに、集客に向けた営業や情報提供の在り方を再考する。
- 施設の定期的な見回りを徹底し、危険個所の修繕や草刈り等を実施することで、安全で快適に利用してもらえるようにする。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 3,354

(単位：千円)

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
525,037	485,263			130,800	10,304 (譲入)	344,159
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	39,774		598	1,057	38,119	

【目的】

当市を訪れる観光客に安らぎと憩いの場を提供し、市内での長期滞在を促すことにより、市民との交流の促進や域内消費の拡大につなげ、地域の活性化を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

・休止中の施設を除く、指定管理者制度導入14施設の利用者数 776,355人

※指定管理者から令和2年度末に提出された令和3年度の事業計画書に基づく利用者数

＜指定管理者制度導入施設 14施設＞

- ① 五智歴史の里会館
- ②～④ リフレッシュビレッジ施設 (くわどり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家)
- ⑤ 安塚雪だるま高原
- ⑥ 牧湯の里深山荘
- ⑦ 柿崎マリンホテルハマナス
- ⑧ 大瀧健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館
- ⑨ 吉川スカイトピア遊ランド
- ⑩ 吉川緑地等利用施設
- ⑪ 吉川ゆったりの郷
- ⑫ 板倉保養センター
- ⑬ ぬしんの里記念館
- ⑭ うみてらす名立

＜休止中の維持管理施設 2施設＞

- ⑮ 大島あさひ荘
- ⑯ 三和ネイチャーリングホテル米本陣

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<① 五智歴史の里会館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	国府1丁目18番28号
設置	平成19年度
構造	木造
面積	延床240㎡
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成19年度
指定管理者	五智歴史の里協議会
指定の期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
利用者数	19,737人	9,500人	15,000人	11,160人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			予算	実績
①収入	-	-	-	-
②支出	施設管理委託料	-	72	66
	五智歴史の里会館 管理運営委託料	5,960	5,857	5,857
	その他	-	49	48
	合計	5,960	5,960	5,978
③公費投入額(②-①)	5,960	5,960	5,978	5,971
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)	302	627	399	535

○指定管理者の収支状況等

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
①収入	利用料金収入	-	3	-
	五智歴史の里会館管 理運営委託料	5,960	5,857	5,857
	その他	1,462	550	600
②支出	6,939	6,424	6,722	6,514
差引(①-②)	483	86	△262	△125

※日常的に経費削減を図りながら、状況に応じて事業計画を変更するなど管理の安定に努めた。

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<②～④ リフレッシュビレッジ施設>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

くわどり湯ったり村

所在地	大字皆口 601 番地
設置	平成 11 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 2,524 m ²
管理	指定管理

ヨーデル金谷

所在地	大貫 2 丁目 17 番 40 号
設置	平成 11 年度
構造	鉄骨造
面積	延床 400 m ²
管理	指定管理

ゆったりの家

所在地	大字横畑 659 番地
設置	平成 14 年度
構造	木造
面積	延床 154 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	リフレ上越山里振興株式会社
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計画	実績
くわどり湯ったり村	44,038 人	22,361 人	37,000 人	29,379 人
うち宿泊	2,661 人	1,070 人	2,000 人	1,893 人
うち日帰り温浴	25,238 人	12,742 人	18,000 人	16,674 人
うち食堂	13,374 人	7,946 人	10,000 人	10,154 人
ヨーデル金谷	22,539 人	16,869 人	23,000 人	17,664 人
ゆったりの家	888 人	104 人	400 人	196 人
合計	67,465 人	39,334 人	60,400 人	47,239 人

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	8,764	4,237	3,760	3,735
	リフレッシュビレッ ジ施設管理運営委託 料	42,933	42,933	42,933	42,933
	その他委託料	2,149	1,186	1,129	1,100
	工事請負費	-	8,404	1,032	1,032
	備品購入費	146	-	420	411
	新型コロナウイルス 減収補填金※	3,502	-	-	-
	その他	40	335	567	480
	合計	57,534	57,095	49,841	49,691
③公費投入額 (②-①)	57,534	57,095	49,841	49,691	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	853	1,452	825	1,052	

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

○指定管理者の収支状況等

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	121,860	67,171	94,700	82,136
	リフレッシュビレッ ジ施設管理運営委託 料	39,385	39,030	39,090	39,030
	新型コロナウイルス 減収補填金※1	3,502	-	-	-
	その他	616	22,633	3,500	25,057
②支出	154,025	121,461	133,951	134,424	
差引 (①-②)	11,338	7,373	3,339	11,799	

※金額は全て税抜き

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・くわどり湯ったり村では、閑散期となる令和 3 年 12 月 13 日から令和 4 年 3 月 17 日まで、日帰り温浴は土・日・祝日営業、宿泊は金・土・日・祝日営業とするなど、損失の縮減に努めた。
- ・ヨーデル金谷では、上越市のプレミアム商品券や地産地消キャンペーンに参加するなど、売上確保に取り組んだ。
- ・くわどり湯ったり村とヨーデル金谷では、まん延防止等重点措置による時短営業を行った。

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑤ 安塚雪だるま高原>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

キューピットバレイスキー場

所在地	安塚区須川 4820 番地
設置	平成 2 年度 ※平成 11 年度から公の施設として管理
構造	鉄骨造(センターハウス、ゴンドラ、リフト)、木造 (ビレッジ、久比岐野)
面積	延床 16,126 m ² (センターハウス、ビレッジ、久比岐野等)
管理	指定管理

棚田動植物公園

所在地	安塚区須川 11584 番地
設置	平成 15 年度
構造	—
面積	—
管理	指定管理

菱ヶ岳グリーンパーク ※令和 4 年度から廃止

所在地	安塚区須川 11497 番地
設置	昭和 61 年度
構造	木造
面積	延床 102 m ²
管理	指定管理

ゆきだるま温泉「雪の湯」 ※令和 4 年度から廃止

所在地	安塚区須川 1881 番地
設置	平成 3 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 2,423 m ²
管理	指定管理

ゆきだるま温泉「久比岐野」

所在地	安塚区須川 2352 番地
設置	平成 2 年度
構造	木造
面積	延床 1,630 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 16 年度
指定管理者	株式会社スマイルリゾート
指定の期間	令和 2 年 7 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日 (前指定管理者の指定残期間)

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計 画	実 績
スキー場(センターハウス)	72,550人	53,500人	102,000人	54,600人
ビレッジ宿泊	9,298人	-	650人	581人
雪の湯	24,647人	-	-	-
久比岐野	4,257人	3,645人	10,000人	7,218人
グリーンパーク	0人	-	-	-
棚田動植物公園	1,445人	137人	1,350人	584人
ふれあい昆虫館	1,569人	-	-	-
合 計	113,766人	57,282人	114,000人	62,983人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	41,580	15,400	53,120	33,897
	再算定による 増加額※1	-	-	30,020	10,797
	雪の湯休館と少雪の 影響による減収補填 金※2	57,136	-	-	-
	直営期間の施設維持 管理費※3	-	10,805	-	-
	その他	1,182	284	1,100	1,058
	雪国文化村リゾート 推進事業	122,318	176,237	122,482	106,659
合計	222,216	202,726	176,702	141,614	
③公費投入額 (②-①)	222,216	202,726	176,702	141,614	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	1,953	3,539	1,550	2,248	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 ゆきだるま温泉「雪の湯」の休館と少雪の影響により、利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

※3 指定管理者の交代に伴い、令和2年4月から6月の間は、市直営で施設の維持管理を行ったもの。

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	129,654	50,761	88,200	66,264
	安塚雪だるま高原 管理運営委託料※1	37,800	14,000	21,000	30,815
	再算定による 増加額※1	-	-	-	9,815
	雪の湯休館と少雪の 影響による減収補填 金※2	57,136	-	-	-
	その他	152,680	51,893	85,181	68,621
②支出	376,450	131,118	193,263	187,615	
差引 (①-②)	820	△14,464	1,118	△21,915	

※金額は全て税抜き

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

なお、令和2年度の新型コロナウイルス減収補填金の算定及び令和3年度の指定管理料再算定に当たっては、他の受託業務との一体的な管理による効率化が図られることから、受託業務で発生した収益を加味して算出した。

※2 ゆきだるま温泉「雪の湯」の休館と少雪の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用したほか、夏休み期間を中心にキューピットビレッジの宿泊営業を再開するなど、収入の確保による収支改善を図った。
- ・また、冬期間のスキー営業では、コロナ禍により小中学校などでスキー授業のキャンセルが相次いだものの、これらの児童や生徒向けの無料スクール等のイベントを開催し、収支改善を図るとともに、次年度以降の誘客につなげる取組を行った。

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑥ 牧湯の里深山荘>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	牧区宇津俣 285 番地
設置	昭和 61 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 2,929 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 27 年度 (平成 27 年 10 月 1 日から)
指定管理者	株式会社太平堂
指定の期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計 画	実 績
利用者数	17,884 人	7,166 人	9,800 人	8,071 人
うち宿泊	1,816 人	460 人	1,800 人	760 人
うち日帰り温浴	8,654 人	3,713 人	5,000 人	4,088 人
うち食堂	3,264 人	1,871 人	2,500 人	1,979 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	3,391	2,840	3,094	3,094
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	15,882	15,882	16,229	16,229
	その他委託料	927	746	649	649
	工事請負費	1,124	4,477	-	-
	その他	527	547	1,142	1,131
合計	21,851	24,492	21,114	21,103	
③公費投入額 (②-①)	21,851	24,492	21,114	21,103	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)	1,222	3,418	2,154	2,615	

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	45,520	15,062	38,374	19,540
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	15,882	15,882	16,229	16,229
	その他	-	4,173	350	5,343
②支出		60,833	37,017	54,316	40,976
差引 (①-②)		569	△1,900	637	136

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・新型コロナウイルス感染症による損失を抑制するため、令和 3 年 12 月 20 日から令和 4 年 3 月 11 日まで日帰り温浴、食堂の営業時間短縮、令和 4 年 1 月 6 日から 3 月 11 日まで平日休館とするなど、損失額の縮減に努めた。

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑦ 柿崎マリンホテルハマナス>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	柿崎区上下浜 262 番地
設置	平成 6 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,992 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	柿崎総合開発株式会社
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計 画	実 績
利用者数	24,500 人	9,074 人	18,205 人	11,499 人
うち宿泊	5,198 人	2,602 人	4,105 人	3,261 人
うち日帰り温浴	9,761 人	2,371 人	6,000 人	3,249 人
うち食堂	4,009 人	3,029 人	6,580 人	4,203 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			予 算	実 績
① 収入	-	-	-	210
② 支出	修繕料	3,516	12,102	10,053
	柿崎マリンホテルハマナス管理運営委託料	8,107	6,655	29,168
	再算定による増加額※1	-	-	22,639
	その他委託料	664	499	220
	使用料及び賃借料	111	111	217
	工事請負費	5,990	3,608	157
	備品購入費	263	-	593
	新型コロナウイルス減収補填金※2	2,545	7,691	-
その他	106	108	638	
合計	21,302	30,774	41,046	39,753
③ 公費投入額 (②-①)	21,302	30,774	41,046	39,543
④ 利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位: 円)	869	3,391	2,255	3,439

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	90,267	42,296	72,115	54,993
	柿崎マリンホテルハマナス管理運営委託料	7,437	6,050	5,935	25,356
	再算定による増加額※1	-	-	-	19,421
	新型コロナウイルス減収補填金※2	2,545	7,691	-	-
	その他	845	17,226	1,200	10,510
②支出		111,033	87,115	95,200	90,498
差引(①-②)		△9,939	△13,852	△15,950	361

※金額は全て税抜き

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの。

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・新型コロナウイルス感染症による損失を抑制するため、閑散期は毎週水曜日を休館日としたほか、利用率が低下しているレストランの夜営業を休止したりするなど損失額の縮減に努めた。
- ・清掃委託業務を従業員対応に見直し、経費縮減を図った。
- ・仕入商品の見直しをしたことにより、原価率を改善するとともに、品質の向上を図った。

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑧ 大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大潟区九戸浜 241 番地 8
設置	平成 9 年度
構造	鉄骨造
面積	延床 3,138 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社大潟地域活性化センター
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計 画	実 績
利用者数	119,480 人	56,135 人	93,800	72,992 人
うち日帰り温浴	63,093 人	34,273 人	56,400	42,892 人
うちプール	15,652 人	5,307 人	15,400	6,130 人
うち共通	4,352 人	1,142 人	3,600	1,728 人
うちプール教室	2,923 人	298 人	1,200	3,939 人
うち各種健康教室	1,930 人	574 人	1,000	1,370 人
うち食堂等	31,530 人	14,541 人	16,200	16,933 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	79	
②支出	修繕料	9,766	19,223	11,199	11,198
	鵜の浜人魚館管理運営委託料	38,500	38,500	44,342	42,885
	再算定による増加額※1	-	-	5,842	4,385
	その他委託料	3,426	3,444	3,719	3,653
	使用料及び賃借料	826	825	836	836
	備品購入費	375	-	-	-
	新型コロナウイルス減収補填金※2	3,348	6,301	-	-
その他	86	614	286	286	
合計	56,327	68,907	60,382	58,858	
③公費投入額 (②-①)	56,327	68,907	60,382	58,779	
④利用者 1 人当たりの公費投入額(単位：円)	471	1,228	644	805	

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	40,550	17,995	59,516	26,065
	鵜の浜人魚館 管理運営委託料	35,000	35,000	35,000	38,986
	再算定による 増加額※1	-	-	-	3,986
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	3,348	6,301	-	-
	その他	40,585	24,496	120	24,732
②支出		115,659	83,580	101,872	89,576
差引(①-②)		3,824	212	△7,236	207

※金額は全て税抜き

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・新型コロナウイルス感染症による損失を抑制するため、閑散期の営業時間短縮や、プール内設備の一部休止を行うなど損失額の縮減に努めた。

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑨ 吉川スカイトピア遊ランド>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区坪野 1458 番地 2
設置	平成 3 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,405 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社みなもとの郷
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計 画	実 績
利用者数	9,214 人	4,578 人	6,700 人	5,437 人
うち宿泊	1,530 人	652 人	1,100 人	859 人
うち日帰り	7,684 人	3,926 人	5,600 人	4,578 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	2	-	-	
②支出	修繕料	2,032	596	2,656	2,656
	吉川スカイトピア遊 ランド管理運営委託 料	2,367	2,517	8,809	8,809
	再算定による 増加額※1	-	-	6,442	6,442
	その他委託料	-	649	176	176
	使用料及び賃借料	1,123	1,135	1,246	1,244
	工事請負費	405	503	-	-
	備品購入費	73	242	-	-
	負担金	-	-	161	161
新型コロナウイルス 減収補填金※2	1,793	5,859	-	-	
合計	7,793	11,501	13,048	13,046	
③公費投入額 (②-①)	7,793	11,499	13,048	13,046	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	846	2,512	1,947	2,399	

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	34,968	18,283	26,337	20,812
	吉川スカイピア遊 ランド管理運営委託 料	2,367	2,517	2,367	8,809
	再算定による 増加額※1	-	-	-	6,442
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	1,793	5,859	-	-
	その他	-	5,602	-	7,602
②支出		39,730	33,012	28,704	38,112
差引 (①-②)		△602	△751	0	△889

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めつつ、しだれ桜まつりやゲートボール大会などのイベントを開催し、施設の利用促進につなげた。

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑩ 吉川緑地等利用施設>※令和4年度から廃止

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区尾神 588 番地 1
設置	昭和 57 年度
構造	木造
面積	延床 504 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社みなもとの郷
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計 画	実 績
利用者数	1,034 人	1,221 人	1,450 人	850 人
うち見はらし荘	454 人	556 人	650 人	357 人
うちボブスレー	580 人	665 人	800 人	493 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度		
			予 算	実 績	
①収入	64	-	-	-	
②支出	修繕料	1,149	-	1,033	1,033
	吉川緑地等利用施設 管理運営委託料	1,467	1,467	1,467	1,467
	その他委託料	103	106	110	110
	土地借上料	166	166	167	166
	工事請負費	393	-	-	-
	合計	3,278	1,739	2,777	2,776
③公費投入額 (②-①)	3,214	1,739	2,777	2,776	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	3,108	1,424	1,915	3,266	

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	142	180	213	141
	吉川緑地等利用施設 管理運営委託料	1,467	1,467	1,467	1,467
	その他	488	597	463	513
②支出		2,136	1,660	2,143	1,686
差引 (①－②)		△39	584	0	435

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<① 吉川ゆったりの郷>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区長峰 100 番地
設置	平成 9 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 3,457 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社ゆったりの郷
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計 画	実 績
利用者数	127,078 人	74,667 人	116,200 人	87,354 人
うち日帰り温浴	75,085 人	42,989 人	63,000 人	54,077 人
うち食堂	49,253 人	30,045 人	50,000 人	30,835 人
うちゲートボール場	1,620 人	1,363 人	2,000 人	1,915 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度		
			予 算	実 績	
①収入	55	-	-	-	
②支出	修繕料	6,126	6,547	6,854	6,853
	吉川ゆったりの郷管理運営委託料	5,288	2,644	23,458	15,874
	再算定による増加額※1	-	-	23,458	15,874
	その他委託料	1,224	710	618	617
	備品購入費	-	-	-	-
	工事請負費	6,189	3,817	8,052	7,247
	新型コロナウイルス減収補填金※2	4,521	23,218	-	-
	その他	293	297	298	297
合計	23,641	37,233	39,280	30,888	
③公費投入額 (②-①)	23,586	37,233	39,280	30,888	
④利用者 1 人当たりの公費投入額(単位：円)	186	499	338	354	

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	45,692	26,680	39,900	31,739
	吉川ゆったりの郷管 理運営委託料	4,851	2,403	-	14,431
	再算定による 増加額※1	-	-	-	14,431
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	4,521	23,218	-	-
	その他	103,441	53,283	77,700	58,489
②支出		157,508	107,273	121,260	104,653
差引 (①-②)		997	△1,689	△3,660	6

※金額は全て税抜き

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・新型コロナウイルス感染症による損失を抑制するため、休館日を増やしたほか、温浴及びレストランの営業時間を短縮し、損失額の縮減に努めた。
- ・清掃業務委託の回数を見直し、従業員対応とすることで、経費縮減に努めた。

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑫ 板倉保養センター>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	板倉区久々野 1624 番地 1
設置	平成 7 年度
構造	鉄骨造
面積	延床 1,426 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	黒倉ふるさと振興株式会社
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計 画	実 績
利用者数	43,033 人	21,062 人	29,300 人	29,112 人
うち宿泊	1,487 人	665 人	800 人	865 人
うち日帰り温浴	23,435 人	12,110 人	18,000 人	18,399 人
うち食堂	13,471 人	7,251 人	9,000 人	8,690 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	2,190	2,658	1,676	1,676
	板倉保養センター管理運営委託料	8,096	8,096	20,559	20,180
	再算定による増加額※1	-	-	12,463	12,084
	その他委託料	357	132	143	143
	備品購入費	59	-	260	259
	新型コロナウイルス減収補填金※2	-	10,291	-	-
その他	-	-	301	299	
合計	10,702	21,177	22,939	22,557	
③公費投入額 (②-①)	10,702	21,177	22,939	22,557	
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位:円)	249	1,005	783	775	

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	68,436	29,170	40,062	35,807
	板倉保養センター 管理運営委託料	7,427	7,360	7,360	18,345
	再算定による 増加額※1	-	-	-	10,985
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	-	10,291	-	-
	その他	1,050	8,801	3,660	6,286
②支出		76,356	59,210	57,822	60,503
差引(①-②)		557	△3,588	△6,740	△65

※金額は全て税抜き

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・営業時間の短縮や冬期間を土日営業とするなど、損失額の縮減に努めた。
- ・新規事業としてグランピング営業を行い、新たな利用客の確保につなげた。

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑬ ゑしんの里記念館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	板倉区米増 27 番地 4
設置	平成 17 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,359 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	一般財団法人ゑしんの里観光公社
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計 画	実 績
利用者数	8,571 人	4,334 人	7,500 人	7,282 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	647	2,695	671	671
	ゑしんの里記念館管理運営委託料	13,275	13,110	15,324	15,324
	再算定による増加額※1	-	-	2,049	2,049
	その他委託料	357	159	143	143
	その他	84	84	66	63
	新型コロナウイルス減収補填金※2	-	1,284	-	-
	合計	14,363	17,332	16,204	16,201
③公費投入額 (②-①)	14,363	17,332	16,204	16,201	
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位：円)	1,676	3,999	2,161	2,225	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	191	154	250	257
	ゑしんの里記念館 管理運営委託料	13,275	13,110	13,275	15,324
	再算定による 増加額※1	-	-	-	2,049
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	-	1,284	-	-
	その他	3,241	1,506	2,945	1,972
②支出		17,710	16,054	18,900	17,657
差引 (①-②)		△1,003	0	△2,430	△104

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの。

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・雇用調整助成金など、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・新たに特産品販売会を開催し収入を確保するなど、損失額の縮減に努めた。

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑭ うみてらす名立>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	名立区名立大町 4280 番地 1
設置	平成 12 年度
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
面積	延床 8,605 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社ゆめ企画名立
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計画	実績
利用者数	384,240 人	202,190 人	304,000 人	229,780 人
うち健康交流館「ゆらら」	118,617 人	68,438 人	100,400 人	82,455 人
うち交流促進施設「光鱗」	10,685 人	6,776 人	9,200 人	7,586 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			予算	実績
①収入	18	67	6,486	9,971
②支出	修繕料	6,369	7,478	12,965
	うみてらす名立 管理運営委託料	39,600	39,600	103,574
	再算定による 増加額※1	-	-	63,974
	その他委託料	13,054	9,968	9,910
	使用料及び賃借料	1,935	1,244	2,751
	工事請負費	1,944	-	62,062
	備品購入費	-	164	611
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	3,057	54,834	-
その他	371	377	1,612	
合計	66,330	113,665	193,485	
③公費投入額 (②-①)	66,312	113,598	186,999	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	173	562	615	

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	504,313	280,484	463,570	304,166
	うみてらす名立管理 運営委託料	36,333	36,000	36,000	86,877
	再算定による 増加額※1	-	-	-	50,877
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	3,057	54,834	-	-
	その他	994	17,993	-	7,716
②支出		551,983	390,241	529,530	398,450
差引(①-②)		△7,286	△930	△29,960	309

※金額は全て税抜き

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額。

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・県民割キャンペーンなど、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・新型コロナウイルス感染症による損失を抑制するため、閑散期の休館日を増やしたほか、一部飲食コーナーの休業、物販の営業時間短縮等を行い、損失額の縮減に努めた。

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑮ 大島あさひ荘>

○実施内容、これまでの経過等

- ・指定管理者の経営破綻により平成24年3月1日から平成25年6月30日まで休館
- ・平成25年7月1日から新たな指定管理者を指定し、宿泊部門を除いて営業を再開したが、平成26年12月をもって指定管理者の指定を取り消し、平成27年1月から休止
- ・施設休止後、必要な管理を行い、施設の維持保全に努めている。
- ・公の施設の適正配置計画に基づき、令和4年度末をもって廃止の予定である。

○施設の管理実績

- ・施設における市の収支状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			予 算	実 績
①収入	-	-	-	-
②支出	修繕料	-	-	-
	大島あさひ荘管理運営委託料	8	813	946
	その他	523	-	-
	合計	531	813	946
③公費投入額 (②-①)	531	813	946	517
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位：円)	-	-	-	-

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

<⑩ 三和ネイチャーリングホテル米本陣>

○実施内容、これまでの経過等

- ・指定管理者の辞退の申し出を受け、令和3年3月31日をもって指定管理者の指定を取り消し、令和3年4月1日から休止
- ・施設休止後、必要最低限な管理を行い、施設の維持保全に努めた。

○施設の管理実績

- ・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績※2
①収入		-	-	-	43
②支出	修繕料	1,996	1,417	833	830
	三和ネイチャーリングホテル米本陣管理運営委託料	5,940	2,750	8	-
	その他委託料	448	150	1,221	1,220
	使用料及び賃貸料	294	295	296	295
	備品購入費	1,816	-	-	-
	新型コロナウイルス減収補填金※1	2,942	21,356	-	-
	その他	185	189	1,419	1,241
	合計	13,621	26,157	3,777	3,586
③公費投入額 (②-①)		13,621	26,157	3,777	3,543
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		660	5,059	-	-

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの。

※2 指定管理者の指定取り消しに伴い、令和3年度は市直営で施設の維持管理を行ったもの。

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光施設等管理事業		

○目標達成状況

- ・休止施設を除く 14 施設の利用者数の合計は、目標に対して 202,596 人少ない 573,759 人となり、目標を達成できなかった。
(目標達成率：73.9%、目標達成：0 施設、目標未達成：14 施設)

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として利用者数や売上が大きく落ち込んでいるが、閑散期となる冬期間に平日休館や営業時間の短縮などにより経費の縮減を図り、損失額を最小限に抑えることができた。
- ・また、指定管理者による新たなイベントの開催などにより、新しい利用者の獲得につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響は継続しているが、施設内での感染症対策の徹底と適切な維持管理に努めながら、安心して利用できる環境の確保に努めていく。
- ・また、施設の老朽化に伴い、修繕や改修に多額の公費負担が生じている現状や、余暇活動における嗜好の変化により利用者数や売上が減少している状況を踏まえつつ、地域振興における重要な役割を担っていることも鑑み、地域住民等と十分な協議をしながら、施設の方向性の検討を進めていく必要がある。

【執行残額について】

事業未実施：施設の管理状況により委託業務等が不要になったことによる執行残	598
入札差金：各種修繕、委託及び工事等の入札又は見積合わせに伴う執行残	1,057
その他：指定管理料の収入実績等に基づく見直しに伴う執行残	37,928
修繕料、電信電話料、借上料等の事業実績に伴う執行残	191

(単位：千円)

決算書 (P298～P301)	7款1項5目 観光物産センター費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光物産センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
23,061	22,660				4,195 (使用料、財産収入、 譲収入)	18,465
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	401				401	

【目的】

市内事業者による貸館利用や姉妹都市の観光と物産展の開催など、観光客や市民に対し特産品等の展示・販売を行うとともに、観光施設のパンフレット、イベントチラシ等による観光情報の発信を行い、誘客促進を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・貸館利用回数：350回
- ・利用者数：90,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 大字藤野新田175番地1
 設置 平成3年度
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
 施設内容 大ホール：592㎡、中ホール：157㎡、会議室：111㎡
 ふるさとコーナー、事務室
 面積 延床2,463.59㎡
 管理 直営(業務委託)
 利用形態 貸館施設

・観光物産センターのにぎわい創出

新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているが、規模を縮小して開催した「姉妹都市と上越市の観光と物産展」の会場として使用するなど、施設の誘客促進を図った。

・観光情報コーナーの充実及びパンフレットの更新

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったイベントもあったが、市内の観光施設・観光資源や姉妹都市・友好交流都市を紹介したパンフレットを取り揃えるなど、観光情報発信機能の向上に努めた。

決算書 (P298～P301)	7款1項5目 観光物産センター費	所管課等	施設経営管理室
事業名	観光物産センター管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			目 標	実 績	
利用者数	79,318人	23,174人	90,000人	36,296人	
貸館利 用回数	大ホール	99回	74回	100回	87回
	中ホール	80回	51回	110回	68回
	会議室	122回	64回	140回	103回
	計	301回	189回	350回	258回

・施設管理における市の収支状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			予 算	実 績	
①収入	使用料	4,857	2,690	5,099	4,110
	その他	240	89	240	85
	合計	5,097	2,779	5,339	4,195
②支出	施設維持管理費	19,375	24,481	23,061	22,660
	うち委託料	8,969	10,325	10,677	10,676
	合計	19,375	24,481	23,061	22,660
③公費投入額 (②-①)	14,278	21,702	17,722	18,465	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	180	936	197	509	

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、利用者数は令和2年度に比べ増えたものの、貸館利用回数は258回、施設利用者数は36,296人で、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・観光情報コーナーを充実させたほか、パンフレットを更新するなど、観光拠点施設として一定の役割を果たすことができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・毎年必要最低限の修繕を実施しているが、建設から30年が経過し施設の老朽化が進んでいることから、今後、大規模な修繕が見込まれる。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 401

(単位：千円)

決算書 (P312～P313)	8 款 4 項 1 目 港湾管理費	所管課等	産業立地課
事業名	港湾管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
257	84					84
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	173				173	

【目的】

港の役割や機能について広く周知・啓発することにより、港への理解を深め、直江津港の賑わいの創出につなげる。

令和 3 年 度 の 取 組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

港の役割や機能を周知するイベントを港湾関係団体や港周辺立地企業と年間を通じて行い、多くの市民等が港に触れ合う機会を提供する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 賑わい創出事業 54

・直江津港見学会

港湾関係団体等からの協力により、港の役割や機能を学ぶ見学会を開催した。

開催回数：5回

会場：直江津港

内容：直江津港の説明、港見学バスツアー、遊漁船による港内遊覧、海上保安官の仕事紹介、巡視艇「たつぎり」の見学、税関の仕事紹介・仕事体験、船員の仕事紹介

参加者数：103人（申込数174人）

(2) 直江津港案内看板等の維持管理 30

・定期的な直江津港案内看板等所管施設の見回りの実施

・直江津港案内看板の剥離部分の修繕

○目標達成状況

・参加者の8割から「港の機能が理解できた」「また参加したい」との意見が寄せられ、多くの市民が港に触れ合う機会を提供できた。

【事業の成果】

・新たな取組として直江津港見学会を開催し、市民等が直江津港の果たす機能や役割を学ぶ機会を提供したことにより、港に人を誘導し、賑わい創出の一助とすることができた。

・直江津港案内看板等所管施設の維持管理を行い、安全かつ適切な誘導案内に努めた。

決算書 (P312～P313)	8款4項1目 港湾管理費	所管課等	産業立地課
事業名	港湾管理費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・港湾関係団体の協力により、工夫を凝らしながら実施することができた。今後は、市民を始め長野県を中心とした市外在住者の参加を促す。

【執行残額について】

その他：直江津港見学会に係る消耗品等が見込みを下回ったことによる残	144
案内看板等の修繕が見込みより少なかったことによる残	29

(単位：千円)

決算書 (P312～P313)	8款4項1目 港湾管理費	所管課等	産業立地課
事業名	港湾整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,405	727					727
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,678				1,678	

【目的】

当市の重要な産業基盤である直江津港の機能を強化するため、港湾関係団体と連携を図りながら、港湾計画に基づく直江津港の整備を促進する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

国や新潟県が実施する直江津港の整備が計画どおり進められるよう働きかけを行う。

○実施内容、これまでの経過等

・日本港湾協会負担金ほか

日本港湾協会や直江津港湾協会など港湾関係団体への負担金・補助金の支出及び総会(書面開催)等への参加

○目標達成状況

- ・県や港湾関係団体と連携した要望活動を行うなど、直江津港の整備が計画どおり進められるように働きかけを行った。
- ・新潟県港湾協会など関係団体との緊密な関係を構築し、港湾行政に関する情報収集を行った。

【事業の成果】

- ・要望活動等を通じて、港湾整備が着実に進捗しており、防波堤の老朽化対策や防砂機能の強化が期待される。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・港湾施設の整備、更新の実現性を高めるため、引き続き関係団体と連携した要望活動を行うとともに、直江津港の長期的な取扱貨物量の増加に向けた取組を推進する。

【執行残額について】

その他：新型コロナウイルス感染症の影響により、直江津港湾協会の事業が中止、縮小になったことによる補助金の残 1,020
港湾関係団体の諸会議が書面開催になったことによる旅費等の残 658